

Table with 4 columns: 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 調査範囲 (Survey Scope), 調査内容 (Survey Content), and 工法 (Method). It details inspection procedures for exterior wall repairs, including material types, application methods, and inspection points.

Table with 4 columns: 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 工法 (Method), 工法の種類 (Method Type), and 注入力 (Injection Force). It provides detailed technical specifications for various repair methods like resin injection and tile replacement.

Table with 4 columns: 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 目地改修工法 (Grout Repair Method), タイルの種類 (Tile Type), and 工法 (Method). It covers grout repair, tile replacement, and material specifications for tiles and adhesives.

Table with 4 columns: 外壁改修工事 (Exterior Wall Renovation Work), 防水材による改修 (Waterproofing Material Repair), 改修工法 (Repair Method), and 性能等級 (Performance Grade). It details waterproofing requirements, material grades, and inspection criteria for various components.

5-2	8. 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2][5.5.2~4]	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない			
		防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)	断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)			
		耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)	鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板			
		鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.11による	召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形状			
		性能等級 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない			
9. ステンレス製建具	性能等級 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号：・建具表による) ・適用しない				
	外部に面する建具の耐風圧性	・S-4 (建具符号：・建具表による) ・S-5 (建具符号：・建具表による) ・S-6 (建具符号：・建具表による)				
	防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)	断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)				
	耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 (・) (建具符号：・建具表による)	ステンレス鋼板 ※SUS 304 ・ SUS 430J1L ・ SUS 443 J1				
	表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ				
10. 建具用金物	性能等級 [5.7.2~4]	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1及び表5.7.2による				
	樹洞製建具に使用する丁番	※改修標準仕様書表5.7.3による				
	握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置	・建具表による				
	マスターキーの製作 ○製作する(玄関のみ)3本 ・製作しない	・既存のマスターキーに合わせる				
	その他の鍵 ※各室3本1組	鍵筒 ・有り ○無し				
11. 自動ドア開閉装置	性能等級 [5.8.2~3]	自動ドア開閉装置の性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	
	・SSLD-1	※改修標準仕様書表5.8.1による	・適用する	・光線(反射)センサー	・行う(適用箇所は建具表による)	
	・SSLD-2		・適用しない	・熱線センサー		
	・DSL1-1			・電波センサー	・行わない	
	・DSL2-2			・電波センサー		
・図示			・タッチスイッチ			
12. 自閉式上吊り引戸装置	性能等級 [5.9.3]	戸の開閉方式 ・建具表による	凍結防止装置 ・適用する ・適用しない			
	性能等級 [5.9.3]	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ※改修標準仕様書表5.9.11による				
	性能等級 [5.10.2~3]	シャッターの種類	・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m ²			
		・外装用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m ²				
		・防煙シャッター				
14. 軽量シャッター	性能等級 [5.11.2~4]	閉閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)	耐風圧強度 () N/m ²			
		ストラットの材質 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 (※ 206又はF06)				
		・JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-5%Al-亜鉛合金のめっき鋼板) めっきの付着量 (※ A290)				
		ストラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバーラッピング形				
		障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示				
15. オーバーヘッド	性能等級 [5.12.2~3]	セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレール
		※ スチールタイプ	・1250	※ バランス式	・スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板
		・アルミニウムタイプ	・1000	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
		・ファイバーグラスタイプ	・750	・電動式	・ハイリフト形	(NIBUSIDA SUS400J1L X12303463)
			・500		・ハイチカル形	

5-3	9. ガラス	性能等級 [3.7.2][5.13.2~4][表5.13.1]	○特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示(建具表)による	
		・フロート板ガラス ※品質・厚さは建具表による	・型板ガラス ※品種・厚さは建具表による	
		・網入板ガラス及び網入板ガラス 品質・厚さ及び網又は線の形状 ※建具表による	・合わせガラス	
		種類	構成種類	表面衝撃はく離特性、ショットバック衝撃特性
		※建具表による		・I類 ・II類 ・II-2類 ・III類
17. ガラスブロック	性能等級 [5.13.5]	ガラス留め材及び溝の大きさ	ガラス溝の大きさ(mm)	
	アルミニウム製	・シーリング材	※建具製造所の仕様による	
		・ガスケット	・図示	
		・グレイジングチャンネル形		
	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具製造所の仕様による	
18. ガラス用フィルム	性能等級 [5.13.5]	種類	記号	
	・日射調整フィルム [G]	・内貼り用	・外貼り用	
	・低放射フィルム	・L E		
	・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G I-1	・G I-2	
	・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G D-1		
19. ガラス用フィルム	性能等級 [5.13.5]	種類	記号	
	・ガラス貫通防止フィルム	・S F		
	品質 JIS A 5759による			
	種類	記号	その他の性能等	
	・日射調整フィルム [G]	・S C-1	・S C-2	

6	内装改修工事	① 改修範囲 [6.1.3]	既存閉じ仕様の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		② 既存壁の撤去、下地補修 [6.2.2]	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示
		④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上げのみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(○図示の範囲) ・撤去範囲全て
		⑤ 製材 [G] [6.5.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法
6.2	内装改修工事	① 改修範囲 [6.1.3]	既存閉じ仕様の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		② 既存壁の撤去、下地補修 [6.2.2]	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示
		④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上げのみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(○図示の範囲) ・撤去範囲全て
		⑤ 製材 [G] [6.5.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法
6.3	内装改修工事	① 改修範囲 [6.1.3]	既存閉じ仕様の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		② 既存壁の撤去、下地補修 [6.2.2]	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示
		④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上げのみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(○図示の範囲) ・撤去範囲全て
		⑤ 製材 [G] [6.5.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法
6.4	内装改修工事	① 改修範囲 [6.1.3]	既存閉じ仕様の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		② 既存壁の撤去、下地補修 [6.2.2]	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示
		④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上げのみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(○図示の範囲) ・撤去範囲全て
		⑤ 製材 [G] [6.5.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法
6.5	内装改修工事	① 改修範囲 [6.1.3]	既存閉じ仕様の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		② 既存壁の撤去、下地補修 [6.2.2]	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
		③ 既存壁の撤去、及び下地補修 [6.3.2]	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示
		④ 木下地等の表面仕上げ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	ビニルシート等の除去 ※仕上げのみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(○図示の範囲) ・撤去範囲全て
		⑤ 製材 [G] [6.5.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法

7	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材								
		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	図示材等の適用					
				・有 (加工：天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する	・適用しない					
				・無 (等級：天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する	・適用しない					
				・無 (等級：天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する	・適用しない					
7.2	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材								
		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率	防虫処理	図示材等の適用				
				・有 (加工：天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・適用しない				
				・無 (等級：天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する	・適用しない					
				・無 (等級：天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	・適用しない				
7.3	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「CLT(直交集成板)」								
		施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法 (mm)	図示材等の適用		
									・図示		
									・図示		
									・図示		
7.4	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「下地用針葉樹製材」								
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	図示材等の適用		
		LDK 洋室	※5.5		※1類	広葉樹 ※2種以上	・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
		洗面所 廊下 トイレ 和室			・2類	針葉樹 ※C-D以上	・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
					・1類		・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
7.5	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「構造用合板」								
		施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	保存処理	防虫処理	強度等級	図示材等の適用
			・2級以上	・1級	※C-D以上		・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
			・1級	・特級			・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
			・1級	・特級			・適用する	・適用しない	・適用する	・適用しない	
7.6	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「化粧ばり構造用合板」								
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	備考	図示材等の適用			
					・1類	・適用する					
					・特級	・適用しない					
7.7	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「天然木化粧合板」								
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	備考	図示材等の適用			
					・1類	・適用する					
					・特級	・適用しない					
7.8	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「特殊加工化粧合板」								
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	強度等級	図示材等の適用	
					・1類				・有り	・なし	
					・2類						
7.9	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「パーティクルボード」								
		施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強度による区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	図示材等の適用			
				※13P, 13M, 97A	※P又はM		※15				
7.10	7. 造作用単板積層材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2]	「メディアムデンチファイバーボード(MDF)」								
		施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強度による区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)	図示材等の適用			
				・30タイプ・25タイプ	・Uタイプ	・難燃2					
				・15タイプ・5タイプ	・Pタイプ	・難燃3					

盛岡広域振興局土木部住宅課

6-3 内装改修工事
6.1 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類 屋外 19型 ※25型
屋内 ※19型 25型
6.2 ビニル床シート
6.3 ビニル床シート
6.4 カーペット敷き

6-4 内装改修工事
6.1 合成樹脂塗床
6.2 フローリング張り
6.3 畳敷き
6.4 セッコウボードその他

6.10.2~3
6.11.2~6
6.12.1
6.12.2
6.13.2~3
6.14.2~3
6.15.2~3
6.16.2~4
6.17.2~3
6.18.2~3
6.19.2~3
6.20.2~3
6.21.2~3
6.22.2~3

6-5 内装改修工事
6.1 壁紙張り
6.2 モルタル塗り
6.3 タイル張り
6.4 セッコウボード等の下地
6.5 壁紙張り
6.6 モルタル塗り
6.7 タイル張り

7 塗装改修工事
7.1 材料
7.2 下地調整
7.3 錆止め塗料塗り
7.4 塗装

7.1.3
7.2.1~7
7.3.2~3
7.4.2~7.14.2
7.5.1~7.14.2
7.6.1~7.14.2
7.7.1~7.14.2
7.8.1~7.14.2
7.9.1~7.14.2
7.10.1~7.14.2
7.11.1~7.14.2
7.12.1~7.14.2
7.13.1~7.14.2
7.14.1~7.14.2

訂正 月 日
設計年月日 R4.11
設計 検図 受領印
工事名称 県宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事
設計番号 A-04

盛岡広域振興局土木部住宅課

9-1 環境配慮改修工事

1. 石綿含有建材の処理工事 [9.1.1~5]

施工調査

※ 石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲 () 図示 ()

貸与資料 ()

分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト及びトモライト

分析方法

材料名	定性分析 (JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4)
	・箇所数 ()	・箇所数 ()
	・箇所数 ()	・箇所数 ()
	・箇所数 ()	・箇所数 ()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示

石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前		処理作業室内	・計点
・測定2	処理作業前		調査対象室外部の付近	・計点
・測定3	処理作業前		処理作業室内	・計点
・測定4	処理作業前		セキユリテゾノン入口	・計点
・測定5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室以外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置
・測定6	処理作業中		処理作業室外	・計点
・測定7	処理作業後 (7~14養生中)		処理作業室内	・計点
・測定8	処理作業後シート		処理作業室内	・計点
・測定9	除去後1週間以降		調査対象室外部の付近	・計点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	・測定5

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	
・測定4	・測定5	25	5	30
・測定	47	10	120	
・測定	47	10	240	

石綿含有建材の処理

- 石綿含有吹き付け材の除去
- 除去対象範囲 図示
- 除去方法 ※ 9.1.3(2)(ア)による
- 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止
- ※ 湿潤化 ・ 固形化
- 除去した石綿含有吹き付け材等の処分
- ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
- 石綿含有保温材の除去
- 除去対象範囲 図示
- 除去方法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし
- 除去した石綿含有保温材等の飛散防止
- ※ 湿潤化 ・ 固形化
- 除去した石綿含有保温材等の処分
- ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)
- 石綿含有成形板の除去
- 除去対象範囲 図示
- 除去した石綿含有成形板の処分
- ・ 石綿含有せつこうボード
- ※ 埋立処分 (管理型最終処分場)
- ・ 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
- ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
- 石綿含有建材除去後の仕上げ工事
- ※ 図示による

2. 断熱アスファルト防水改修工事 [9.2.1~3]

改修特記仕様書第3章による

3. 外断熱改修工事 [9.3.2~4]

断熱材

種類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・
・ ロックウール	・
・ グラスウール	・

施工箇所 図示

ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

外装材

種類	防火性能	備考
・		
・		

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去 あり ・ なし

下地面の清掃 行う ・ 行わない

欠損部の改修方法 ・ 改修標準仕様書4章 外壁改修工事による

9-2 環境配慮改修工事

4. ガラス改修工事 [9.4.2]

5. 断熱・防露改修工事 [9.5.2~4]

6. 屋上緑化改修工事 [9.6.1~3]

7. 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.7.2~9]

工法

不陸等の下地調整 ・ 外装材製造所の仕様による

透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし

断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による

外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による [9.4.2]

品 類	断熱性の区分	日射取得性・透へい性による区分	乾燥気体の種類
・断熱複層ガラス	・ T1 ・ T3 ・ T5	・ G	・ 空気
	・ T2 ・ T4 ・ T6	・ S	・ アルゴン
・日射熱透へい複層ガラス	・ T1 ・ T3 ・ T5	・ G	・ 空気
	・ T2 ・ T4	・ S	・ アルゴン

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [9.5.2~4]

断熱材打込み工法

種類	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	・
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・
・ フェノールフォーム断熱材	・

施工箇所 図示

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 (JIS A 9526 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム)

断熱材の種類 (A種1 H)

厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 20

施工箇所 図示

断熱材後張り工法

断熱材の種類 (JIS A 9521 発泡プラスチック断熱材)

厚さ (mm) ()

施工箇所 図示

6. 屋上緑化改修工事 [9.6.1~3]

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽置システム ・ 適用する ・ 適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示

見切り材、舗装材、排水孔、マルテング材等 ※ 図示

(品質・性能)

項目	性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(排水層を有する場合は、排水層共)
透水路	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² /h以上
耐荷重性能	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×10 N/m ² の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常がないこと。(排水層を有する場合は排水層共)
排水層の許容圧縮強度	
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。但し、耐根層がこれと同等の性能を有するものと認められる場合は省略することができるものとする。

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

かん水装置 ・ 設置する (種類)

既存保護層の撤去 ・ 行う (・ 改修標準仕様書3.2.3による)

新植した芝及び地被類の枯保障の期間 ※ 引渡の日から1年

9.7.2~9]

既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示
	・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン	・ 図示
	・ 切込み砂利	・
	・ 砂	・
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示

路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない

路床安定処理の方法

- ・ 添加材料による安定処理
- ・ 路床安定処理用添加材料

種類

- ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G]
- ・ フライアッシュセメントB種
- ・ 生石灰 (・特号・1号) ・ 消石灰 (・特号・1号)

添加量 kg (目標CBR ・ 3 以上)

目標CBRを満足する添加量の確認方法

- ・ 安定処理土のCBR試験

9-3 環境配慮改修工事

試験

砂の粒度試験 行う ・ 行わない

路床土の支持力比 (CBR) 試験 行う ・ 行わない

現場CBR試験 行う ・ 行わない

路床締固め度試験 行う ・ 行わない

路盤

路盤の厚さ 図示

路盤材料

種 類	
砕石	・ クラッシュラン
	・ 粒度調整砕石
再生材	・ 再生クラッシュラン [G]
	・ 再生粒度調整砕石 [G]
	・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
	・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]
	・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

舗装の構成 図示

間粒度アスファルト混合物等の抽出試験

行う ・ 行わない

舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの

設計年月日 R4.11

設計

検図

受領印

工事名称 県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事

設計番号

製図

担当

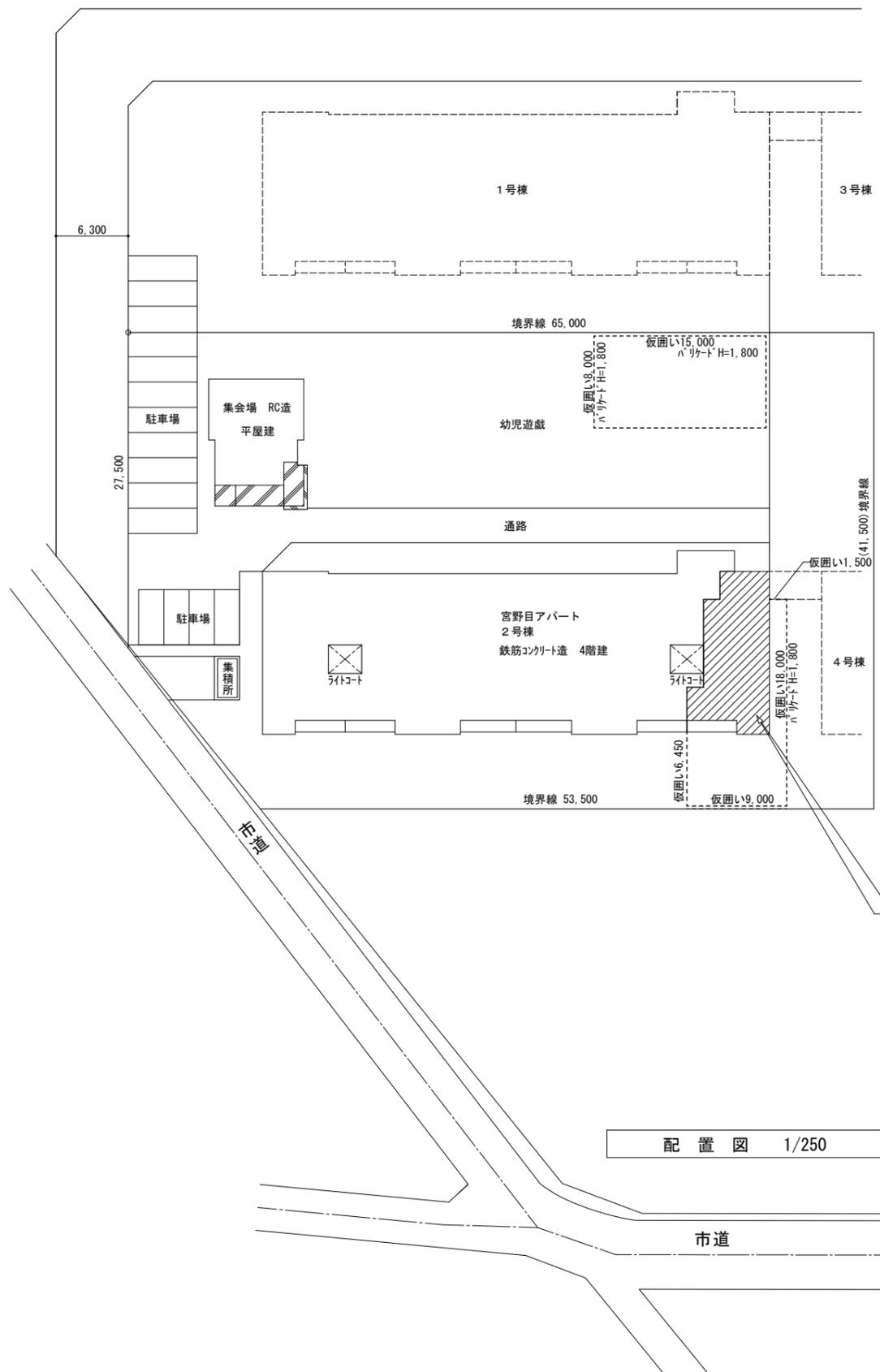
受領年月日

図面名称 改修工事 特記仕様書 N05

縮尺 A1:1/30 A3:1/60

図面番号 A-05

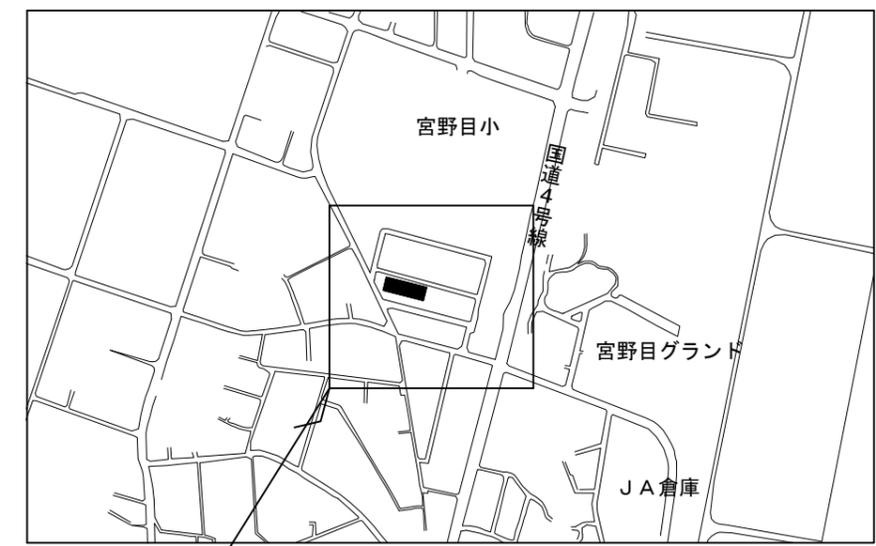
盛岡広域振興局土木部住宅課



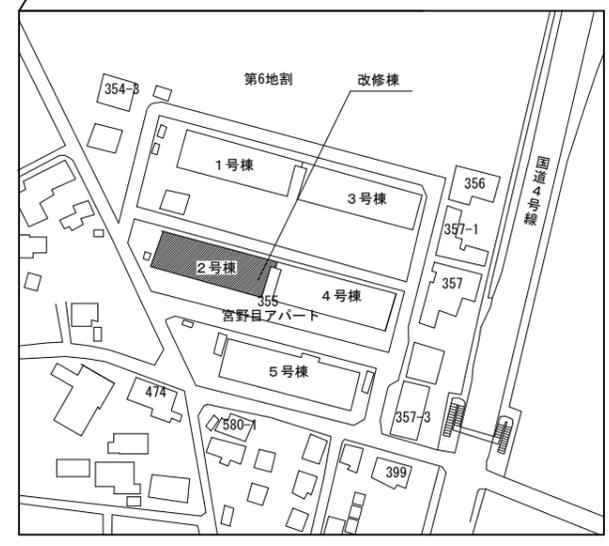
仮囲い ハリケート H1.800
 $6.450 + 9.000 + 18.000 + 1.500 = 34.950$
 $8.000 \times 2.000 + 15.000 \times 2.000 = 46.000$
 80.950

工事場所：2号棟 216号 226号

配置図 1/250



工事場所：花巻市西宮野目第6地割355番
 県営宮野目アパート 2号棟216号 226号



付近見取図

訂正	月	日

盛岡広域振興局土木部住宅課

設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
R4.11				県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	—
	製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
				付近見取図・配置図	A-06
縮尺				A1: 1/250	
				A3: 1/500	

【 既存外部仕上表 】

【 既存その他仕上表 】

屋根	コンクリートB種+777樹脂+22kg+発泡スチレンフォーム(7)25mm(接着)+軟質発泡スチレンフォーム(7)4mm+ステンレス防水(7)0.4mmSUS304葉き バルコニー外立上り ルーフing 22kg+ステンレス防水(7)0.4mm 笠木:777笠木W225(樹脂材)ステンレス防水と接する部分は、電食防止用ゴムパッキン・パシ込みとする。	ライトコート	外壁と同じ 排水管用 枠付400角レナチン2ヶ所 床:金コナ A種(勾配付)
屋根・EV機械室	2.0塩ビ系・シート防水工法(7)2.0mm 全面接着施工 横型ドレイン 1ヶ 縦樋φ80 F P (2) 笠木:777笠木W200 加工有り	エレベーター (仕様参照)	機械室:(床)シタコンクリート金コナ押え(7)100×100×4) (壁)コンクリート肌直し (天井)木毛セパン板打込 (7)25mm 3ヶ用フック取付U型 昇降路:ピット部分 防水モルタル(7)20mm 壁:コンクリートのまま
ルーフドレイン	陰屋根:ステンレス防水専用ルーフドレイン 100φ SUS304 9ヶ 縦樋 φ100 F P (2)	室名札	各戸 777製270×135(A型室名札) 取付・番号書共 2ヶ
軒天上	ベニ型枠コンクリート打放し 肌直しの上、777樹脂吹付(777100%)	内装材の防火性能	化粧石膏ボード (7)9.5mm 準不燃2016号 杉板化粧石膏ボード (7)9.5mm 準不燃2016号 石膏ボード (7)9.5mm 準不燃2015号 石膏ボード (7)9.5mm+ビニール貼付(一級品)・壁装材料0005号
外壁	ベニ型枠コンクリート打放し肌直しの上、777樹脂吹付(777100%) 打継目地:樹脂材系シーリング10×15 化粧目地間 打放し肌直しの上、777樹脂塗装仕上げ	木材	構造材 桧1等 コンクリートに接する部分はウレタン塗 造作材 和室廻り・欄上小節・CL・洋室・LDK等 欄上小節OP(2) 敷居等桧1等 胴縁 杉25×40~45φ・3015×50~303φ(H=1800まで)~455φ(H1800以上) 土台 90×40・頭ツナギ90×40・鴨居90×40・廻り縁35×20・タタミ寄35×40
バルコニー	床:防水モルタル仕上げ(勾配付)塗膜防水ノリツブ工法 巾木:防水モルタル仕上げ 壁:ベニ型枠コンクリート打放し肌直しの上、777樹脂吹付(777100%) 笠木:コンクリート打放し肌直しの上、777樹脂塗装仕上げ 777手摺 B L認定品(樹脂丸:同等品)	木軸組RC部分	大 壁 柱90×90 間柱90×30~45φ 30胴縁15×50~303φ(H=1800まで)~455φ(H=1800以上) 真 壁 柱90×90 間柱45×30~45φ 30胴縁45×30~303φ(H=1800まで)~455φ(H=1800以上)
隔 板	777既製品枠 避難スリッパ両面貼り	床下地材	既製品床組:ユニット777(B L認定品) 同等品(各キワ~根太付施工) 和室:ベニ型枠(7)20mm(L-5100) 洋室:ベニ型枠(7)20mm(L-500) (LDK・便所・脱衣ロッカ・押入共)
通路(スロープ)共	ドレイン:踊場ドレインφ100 12ヶ 継手パイプ付 12ヶ 縦樋φ100 F P (2) (T字パイプ付)12ヶ・ステンレス角パイプ75×45×1.5L=200 5ヶ 軒天:ベニ型枠コンクリート打放し 肌直しの上777樹脂吹付(777100%) 一部天井有り 床:防水モルタル仕上げ+塗膜防水ノリツブ工法 その他:EV用ピクト(R突出タイプ)4ヶ所(290×250 P G-501)両面タイプ 方立支持用777手摺、パイプ式B L II型、吹抜部分格子型、消火器 ABC-10型 8本取付共	配管ピット	防水モルタル(7)20mm スロープ下端~合成樹脂発泡剤(7)2.5mm打込 ステンレスパイプ W=300 φ19 3本/戸→18本 床点検口 450角777(同材貼仕上げ)
開口部	777仕様: B L認定品見込70・一般仕様見込70・スチール製戸 甲種防火戸枠見込80 サッシ廻り:樹脂材系シーリング10×10・モルタル詰め(外部の防水モルタル)・現場発泡ウレタン(外部) 窓手摺:777既製品・B L認定品(樹脂材)		
根廻り	ベニ型枠コンクリート打放し		
断熱材	住戸土間下:防湿シート(7)0.15mm+発泡スチレンフォーム(7)30敷き 1階土間下立上り壁:発泡スチレンフォーム(7)30打込み 外部に接する内壁:現場発泡ウレタン(7)20吹付 各階スラブ下:外壁~W900 現場発泡ウレタン(20)吹付		

※上記については、既存のまま 改修部は右図に示す

【 改修外部仕上表 】

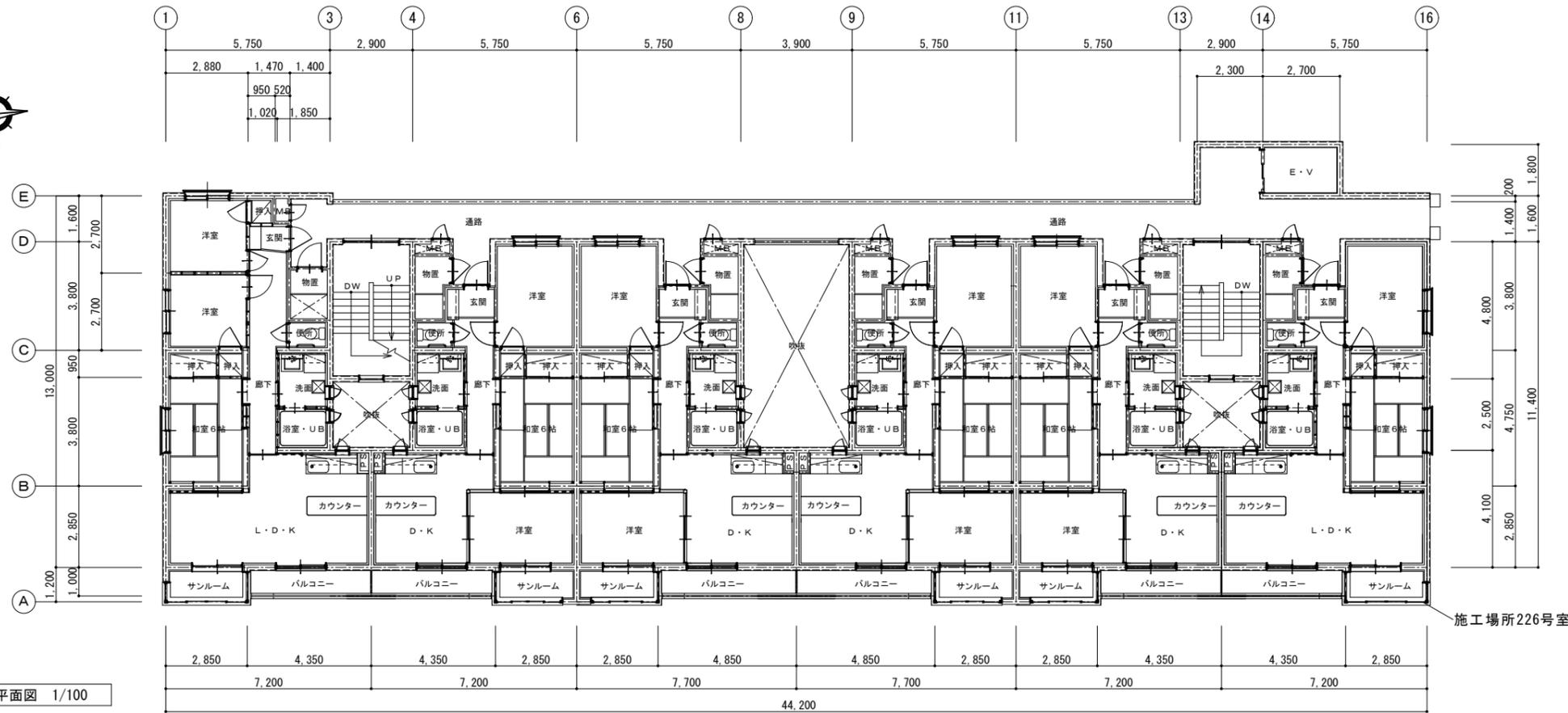
226・236号室 バルコニー外壁	煤除去 ※外壁補修詳細図(1)参照 A-23
通路A部 (2階通路壁天井)	煤除去 ※外壁補修詳細図(1)参照 A-23
通路B部 (2階通路外部)	煤除去 ※外壁補修詳細図(1)参照 A-23
東妻側外壁 (2階窓廻り)	煤除去 ※外壁補修詳細図(1)参照 A-23

【 216号室・226号室 改修その他仕上表 】

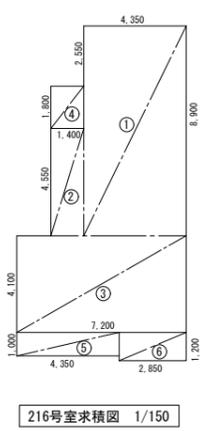
※塗装について2回塗装→(2) 3回塗装→(3)

窓・ドア	建具表・改修平面詳細図・部分詳細図 A-15 A-16 A-21 A-22 A-25参照 シーリング(MS-2.幅・深さ10mm以上)
内装材の防火性能	化粧石膏ボード (7)9.5mm 準不燃2016号 石膏ボード (7)9.5mm 準不燃2015号 石膏ボード (7)9.5mm+ビニール貼付(一級品)・準不燃材料
木材	構造材 桧 コンクリートに接する部分は防霉剤(JIS K 15711に適合又は同等品)塗 造作材 和室廻り一掃(特1)上小節CL塗半艶(2) 洋室・LDK等一掃(特1)上小節SOP塗(2) 敷居等一掃(特1) 胴縁 軽鉄20形φ300(コンクリートに面する部分) 木横胴縁24×45 @455一掃(一部間仕切部) 土台 90×40 桧(薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理) 頭ツナギ一掃90×40・鴨居一掃(特1)90×40・廻り縁一掃(特1)35×20・タタミ寄一掃(特1)35×40 ※塗装は全て肌直し後とする
木軸組RC部分	コンクリートに面する部分→軽鉄胴縁(20形 @300) 大 壁(一部間仕切部) 桧→ 柱90×90 間柱90×30 @455 横胴縁24×45 @455 真 壁(一部間仕切部) 桧→ 柱90×90 間柱45×30 @455 横胴縁24×45 @455
床下地材	既製品床組:77777-H180 同等品(各キワ~根太付施工) 和室:ベニ型枠(7)20mm(L-5100) 洋室:ベニ型枠(7)20mm(L-500) (LDK・便所・押入・洗面脱衣・廊下共)
暖房用キャップ クーラーキャップ	暖房機用キャップのみ:樹脂製107型(内外共)スリーブφ100φ クーラー用キャップのみ: 同上
流し台セット (吊戸棚下端 フレキシブル(7)6mm) B L認定品	セキオキキッチン L=1800 流し台 L=1200 コロ台(パイプ付) L=600 レンジフード L=600 吊戸棚 L=1200 水切り(スチール製)W450 流し前水切ステンレス(7)0.6mm 折り曲げ加工取付・防熱板ステンレス製400×600×0.8mm ※レンジフード取付は本工事とし、パイプ及びパイプ-架台接続は 機械設備工事とする 注:同時吸排仕様とする
断熱材	216号室発泡ウレタンフォーム(7)20 (トイレ、洗面所一部) 壁・天井 外周部壁面より内側に1mまで(7)20) 226号室発泡ウレタンフォーム(7)20 (壁・天井 外周部壁面より内側に1m(7)20)

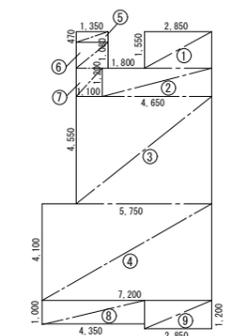
訂正	月日		盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	R4.11	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号	
									県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	—	
									受領年月日	図面名称	図面番号
									既存・改修 外部・その他仕上表	A3:1/60	A-07



2階平面図 1/100



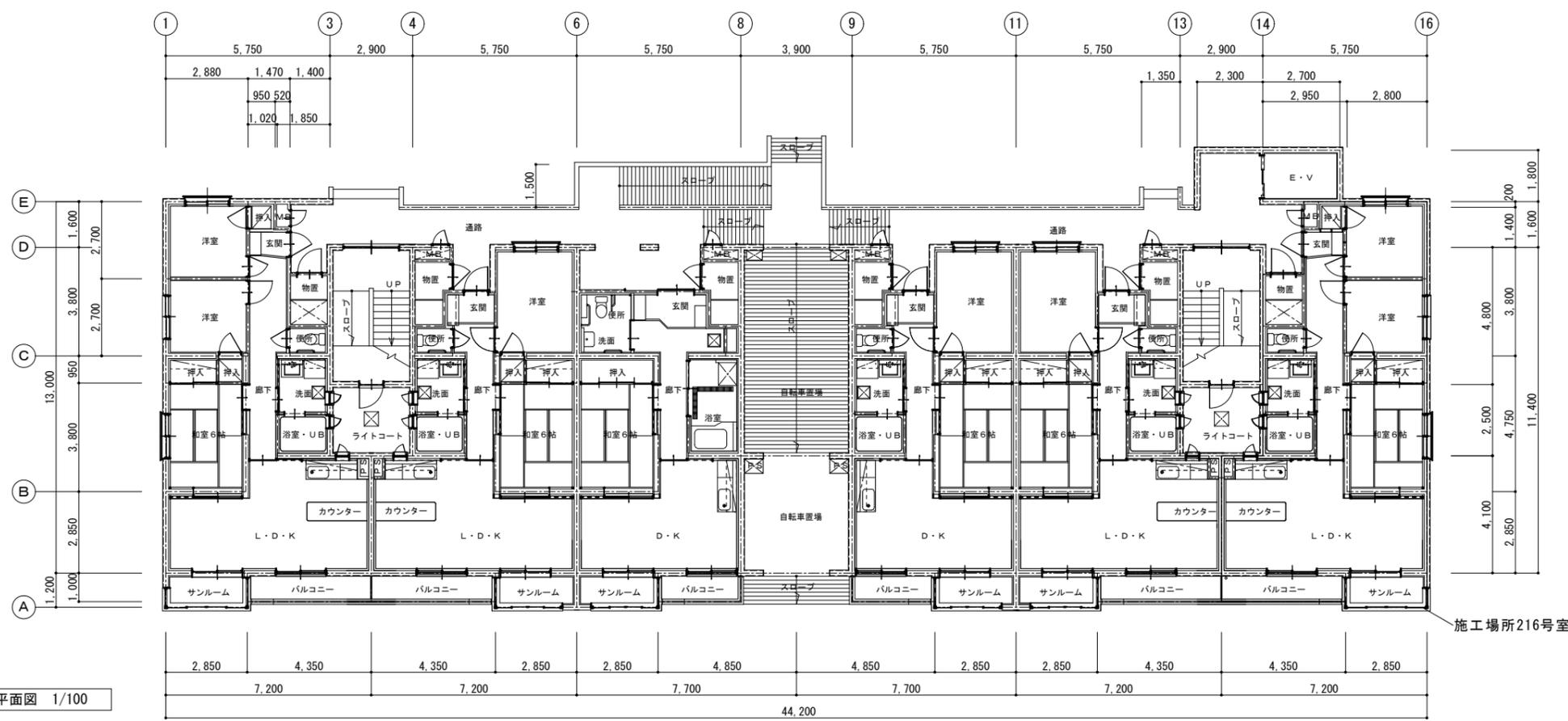
216号室求積図 1/150



226号室求積図 1/150

【面積表】

216号室		226号室	
①	4.35 × 8.9 = 38.715	①	2.85 × 1.55 = 4.4175
②	1.4 × 4.55 = 6.37	②	4.65 × 1.2 = 5.58
③	7.2 × 4.1 = 29.52	③	5.75 × 4.55 = 26.1625
④	1.4 × 1.8 = 2.52	④	7.2 × 4.1 = 29.52
⑤	4.35 × 1.0 = 4.35	⑤	1.35 × 0.47 = 0.6345
⑥	2.85 × 1.2 = 3.42	⑥	1.35 × 1.08 = 1.458
住居専用面積 ①+②+③=74.605		⑦	1.1 × 1.2 = 1.32
74.60m ²		⑧	4.35 × 1.0 = 4.35
物置面積 ④	2.52m ²	⑨	2.85 × 1.2 = 3.42
バルコニー面積 ⑤	4.35m ²	住居専用面積 ①+②+③+④+⑤	
サンルーム面積 ⑥	3.42m ²	=66.3145 66.31m ²	
		物置面積 ⑥+⑦=2.778 2.77m ²	
		バルコニー面積 ⑧ 4.35m ²	
		サンルーム面積 ⑨ 3.42m ²	



1階平面図 1/100

施工場所226号室

施工場所216号室

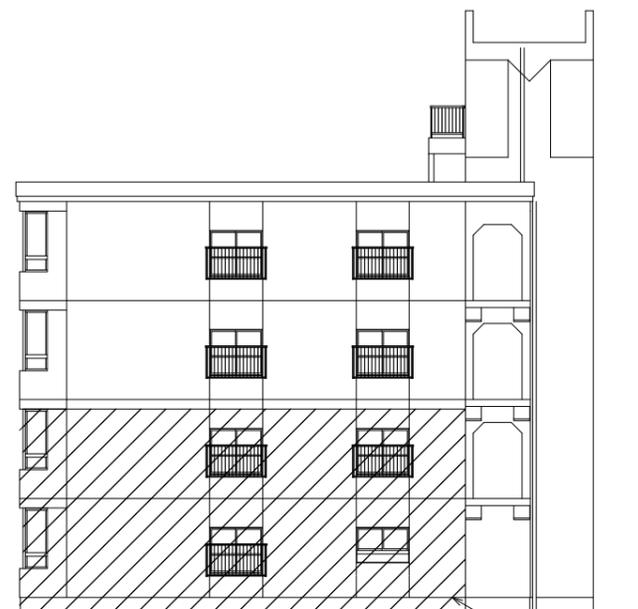
盛岡広域振興局土木部住宅課

訂正	月	日	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
			R4.9				県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
							1・2階平面図 求積図 面積表	A-09

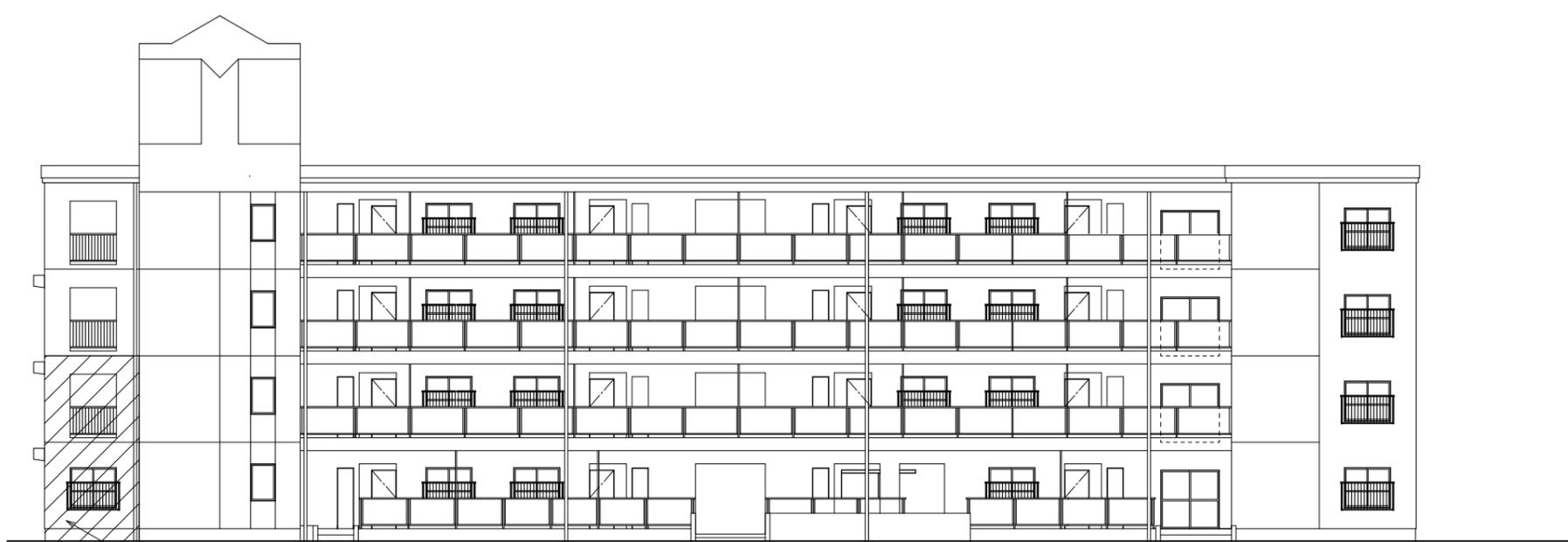
縮尺 A1:1/100 1/150 A3:1/200 1/300



南側立面図 1/100



東側立面図 1/100

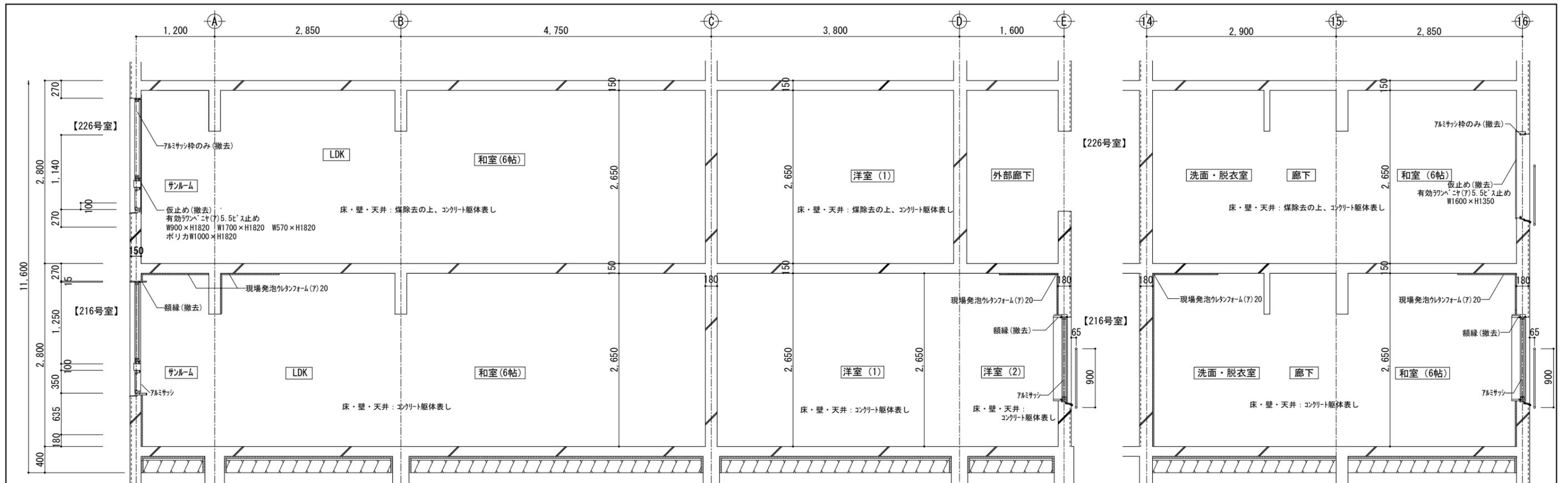


北側立面図 1/100

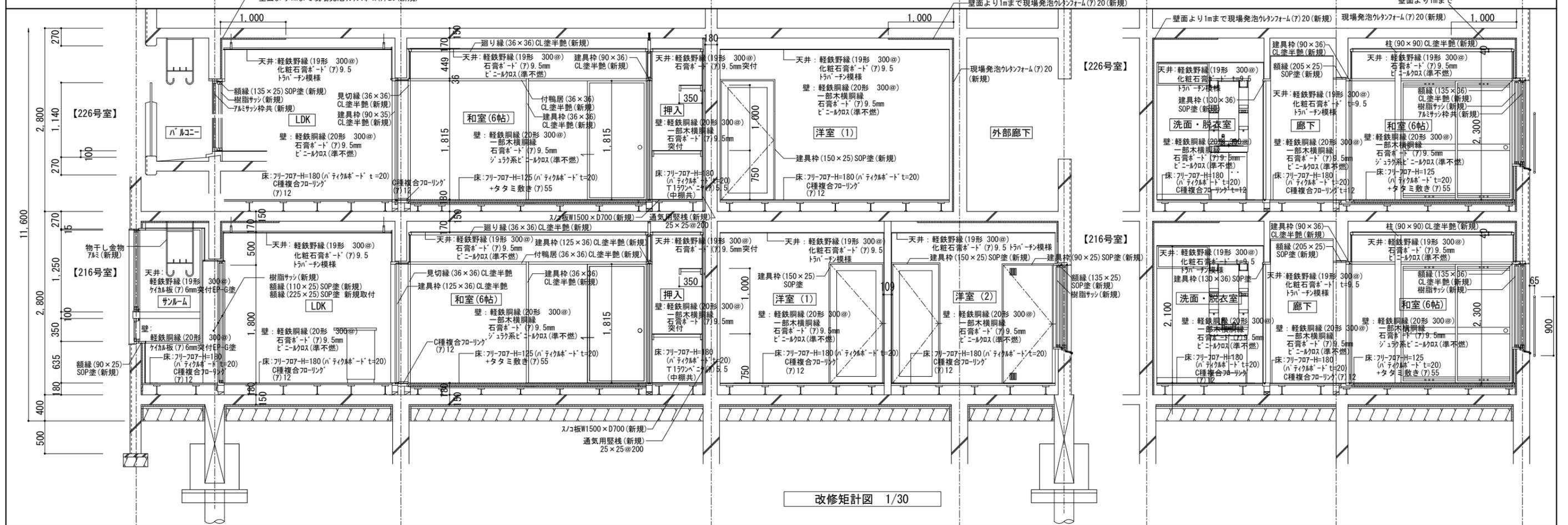
訂正	月	日

盛岡広域振興局土木部住宅課

設計年月日 R4.11	設計	検図	受領印	工事名称 県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	設計番号 —
	製図	担当	受領年月日	図面名称 東・南・北側立面図	図面番号 A-10
				縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



既存矩計図 1/30



改修矩計図 1/30

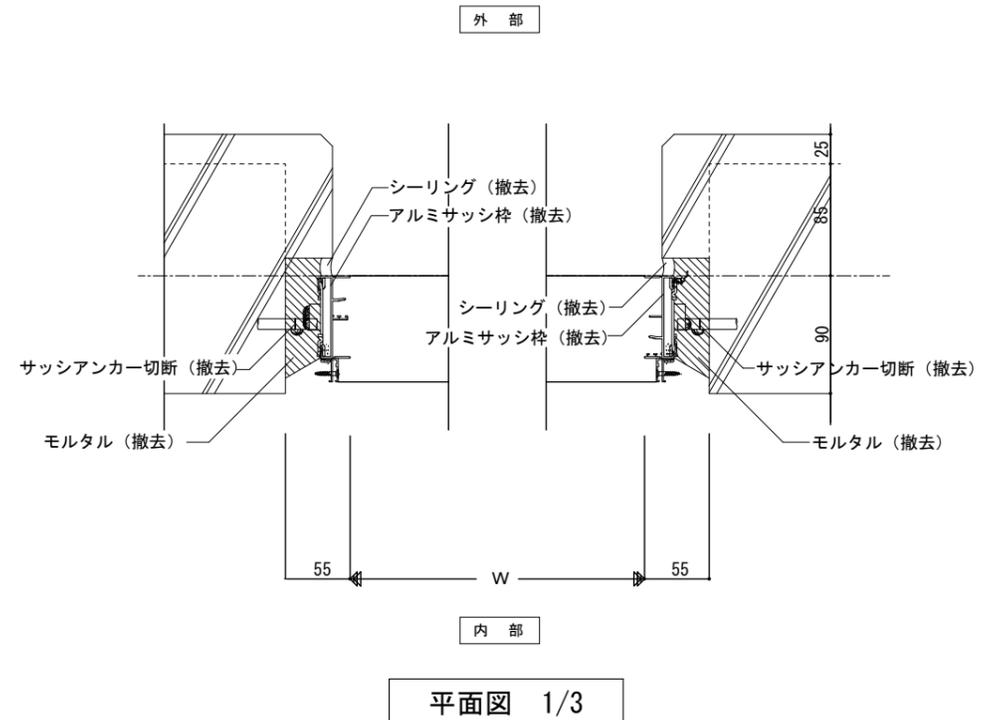
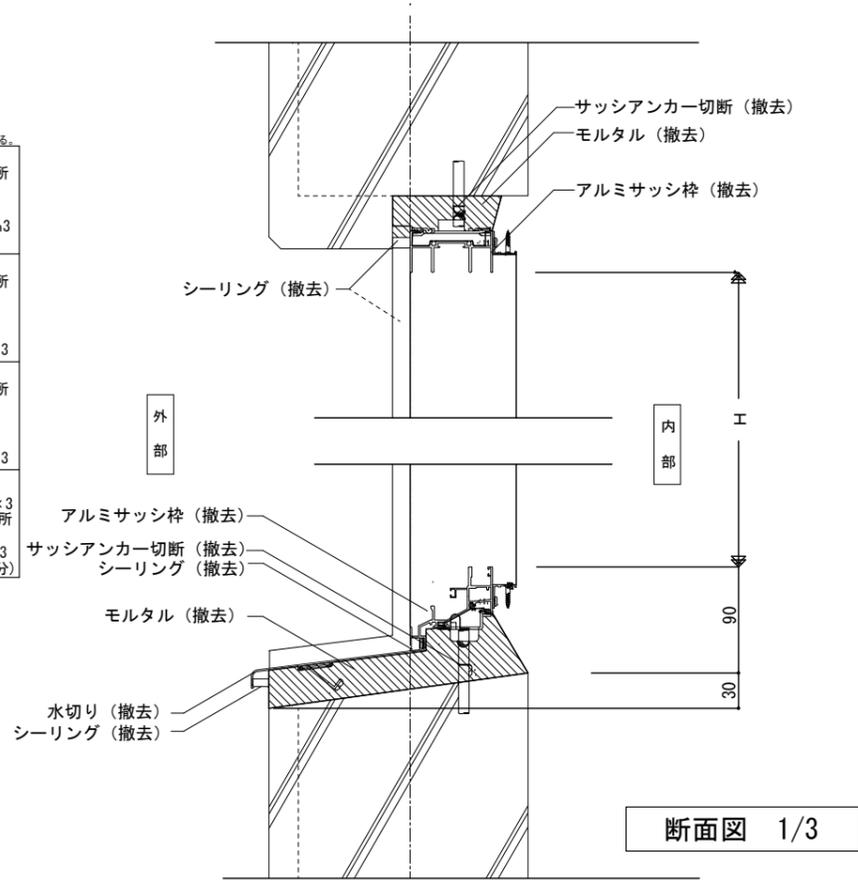
訂正	月日		設計年月日	R4・11	設計	検図	受領印	工事名称	泉宮野目アパート(2号棟216・226号室)災害復旧工事	設計番号	
			製図		担当	受領年月日		図面名称	既存・改修矩計図	縮尺	A1: 1/30 A3: 1/60
										図面番号	A-11

盛岡広域振興局土木部住宅課

226号室既存

【撤去】 ※数量は参考数量とする。

5A AW 2ヶ所	アルミサッシ枠(撤去) サッシアンカー切断(撤去) モルタル(撤去) $0.2 \times 0.05 \times (1.55 + 1.35) \times 2 = 0.06$	16ヶ所 0.06m ³
3 AW 1ヶ所	アルミサッシ枠(撤去) サッシアンカー切断(撤去) モルタル(撤去) $0.2 \times 0.05 \times (1.05 + 2.85 + 0.7 + 1.75) \times 2 = 0.13$	32ヶ所 0.13m ³
4 AW 1ヶ所	アルミサッシ枠(撤去) サッシアンカー切断(撤去) モルタル(撤去) $0.2 \times 0.05 \times (1.85 + 1.82) \times 2 = 0.08$	25ヶ所 0.08m ³
7 AW 3ヶ所	アルミサッシ枠共(撤去) サッシアンカー切断(撤去) モルタル(撤去) $0.2 \times 0.05 \times (0.45 + 0.65) \times 2 = 0.022$ $0.22 \times 3 = 0.07$	4ヶ所 × 3 = 12ヶ所 0.07m ³ (3ヶ所分)



226号室改修

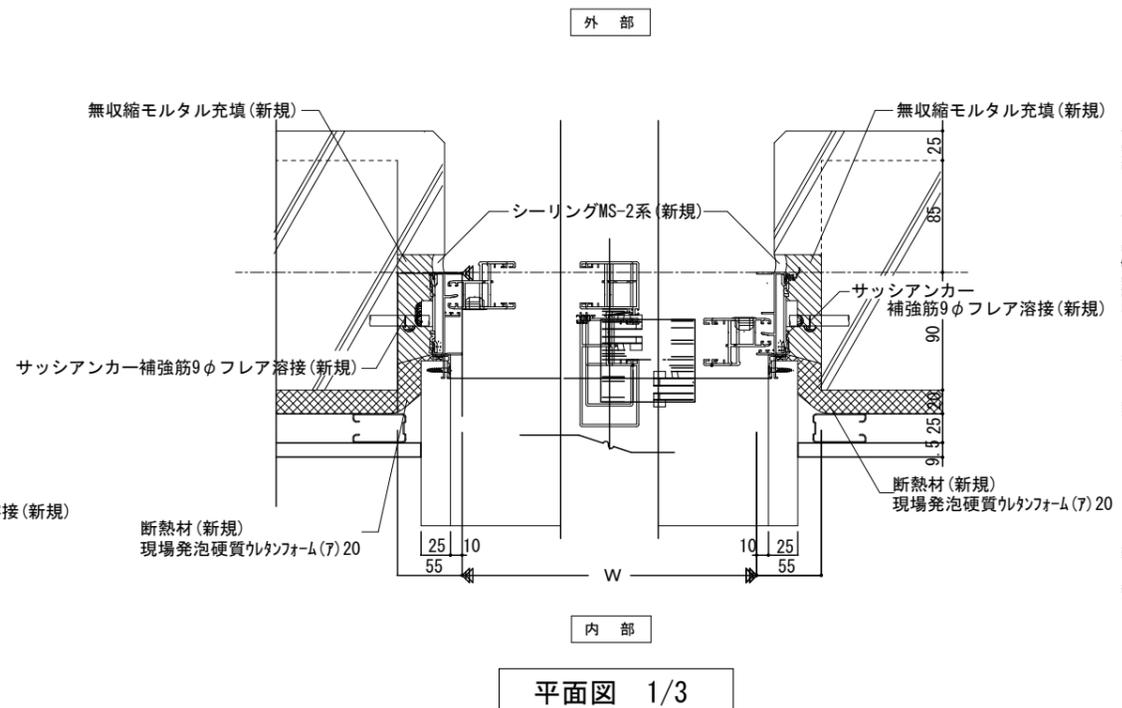
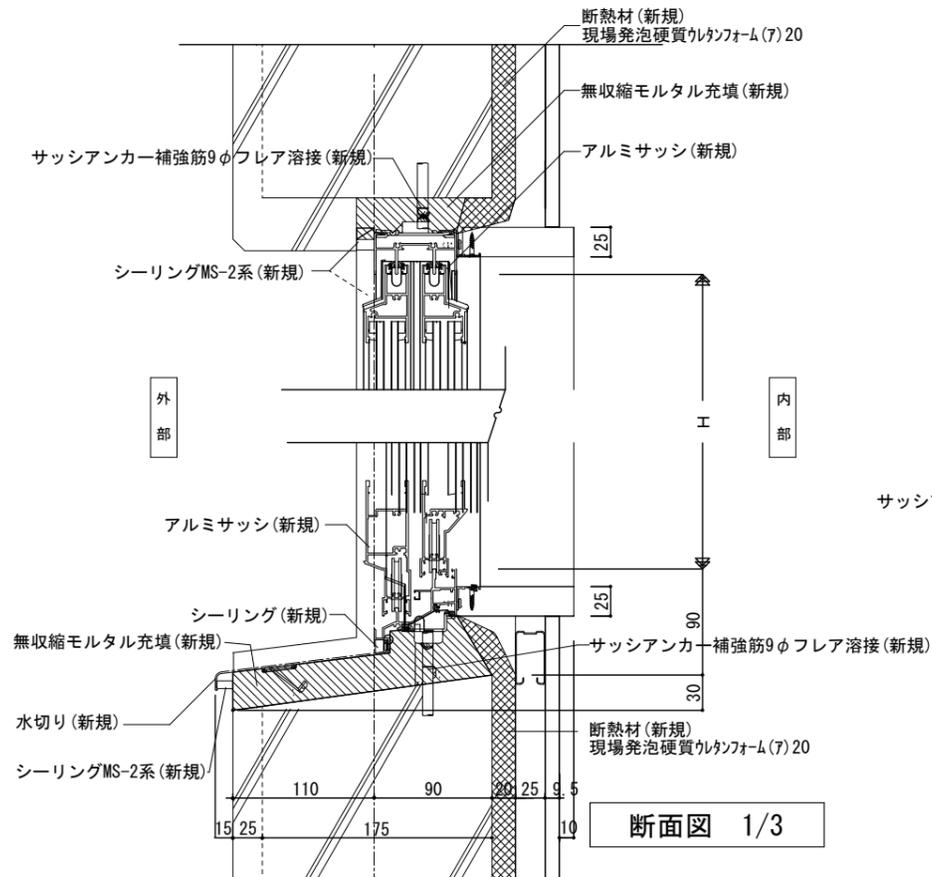
【新規】 ※数量は参考数量とする。

5A AW 2ヶ所	アルミサッシ枠(新規) サッシアンカー補強筋9φ(新規) 無収縮モルタル充填(新規) $0.2 \times 0.05 \times (1.55 + 1.35) \times 2 = 0.06$	16ヶ所 0.06m ³
3 AW 1ヶ所	アルミサッシ枠(新規) サッシアンカー補強筋9φ(新規) 新規：無収縮モルタル充填 $0.2 \times 0.05 \times (1.05 + 2.85 + 0.7 + 1.75) \times 2 = 0.13$	32ヶ所 0.13m ³
4 AW 1ヶ所	アルミサッシ枠(新規) サッシアンカー補強筋9φ(新規) 無収縮モルタル充填(新規) $0.2 \times 0.05 \times (1.85 + 1.82) \times 2 = 0.08$	25ヶ所 0.08m ³
7 AW 3ヶ所	アルミサッシ枠共(新規) サッシアンカー補強筋9φ(新規) 無収縮モルタル充填(新規) $0.2 \times 0.05 \times (0.45 + 0.65) \times 2 = 0.022$ $0.22 \times 3 = 0.07$	8ヶ所 × 3 = 12ヶ所 0.07m ³ (3ヶ所分)

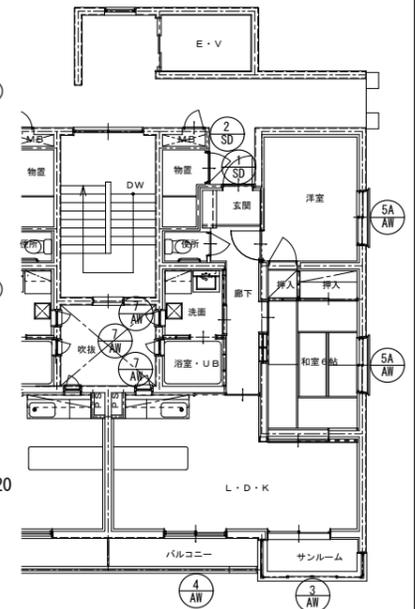
【新規】 ※SDの詳細(216号室同等品)は承認図を参照

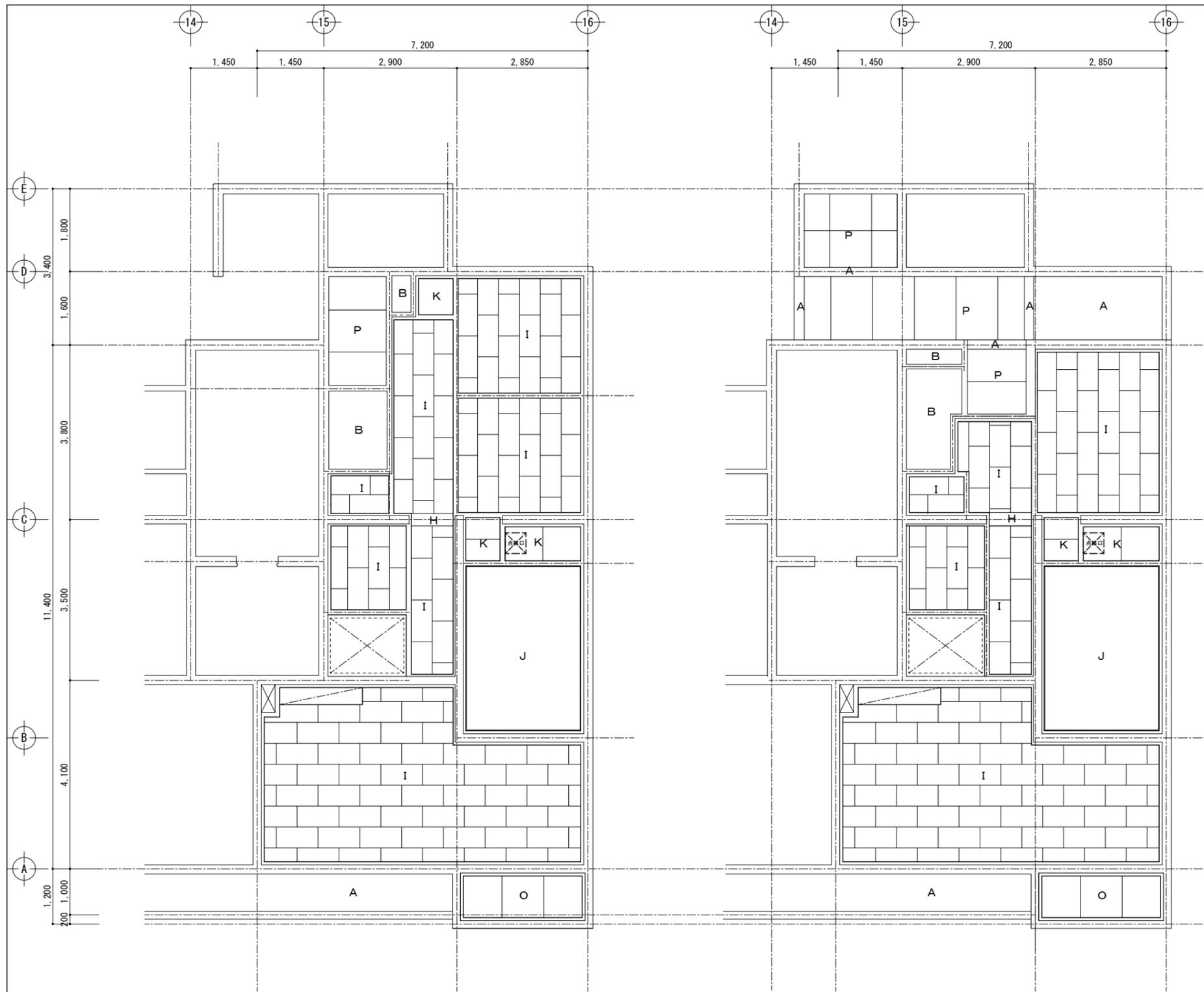
1 SD 1ヶ所	SD設置(新規) 無収縮モルタル充填(新規) $0.2 \times 0.05 \times (0.85 + 1.95) \times 2 = 0.06$	0.06m ³
2 SD 1ヶ所	SD設置(新規) 無収縮モルタル充填(新規) $0.2 \times 0.05 \times (0.85 + 1.95) \times 2 = 0.06$	0.06m ³

※シーリングMS-2(10×10)とする



- 凡例
- 断熱材
現場発泡硬質ウレタンフォーム(A) 20
 - 既存モルタル撤去の上
無収縮モルタル充填





216号室天井伏図

226号室天井伏図

※和室押入：天井点検口450角

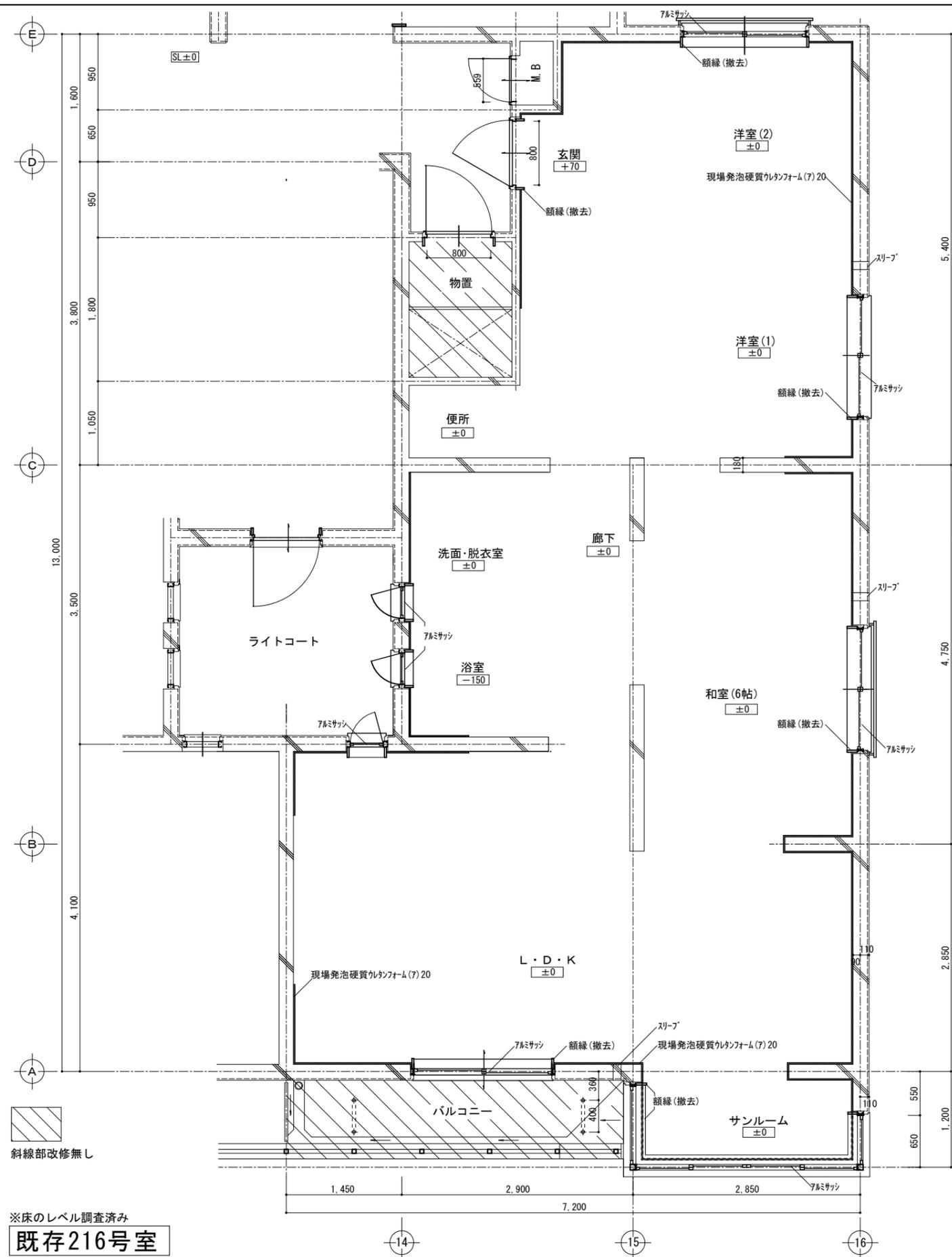
符号	下地 (LGS)		天井仕上	廻縁	
	19型			木	塩ビ
H			ビニルクロス貼り (準不燃)		
I	○		化粧石膏ボード (ア)9.5		○
J	○		石膏ボード (ア)9.5+ ビニルクロス貼り (準不燃)	○	
K	○		石膏ボード (ア)9.5 突付	○	
O	○		ケ酸カルシウム板 (ア)6 突付E-P-G (2)		○

訂正	月	日
	.	

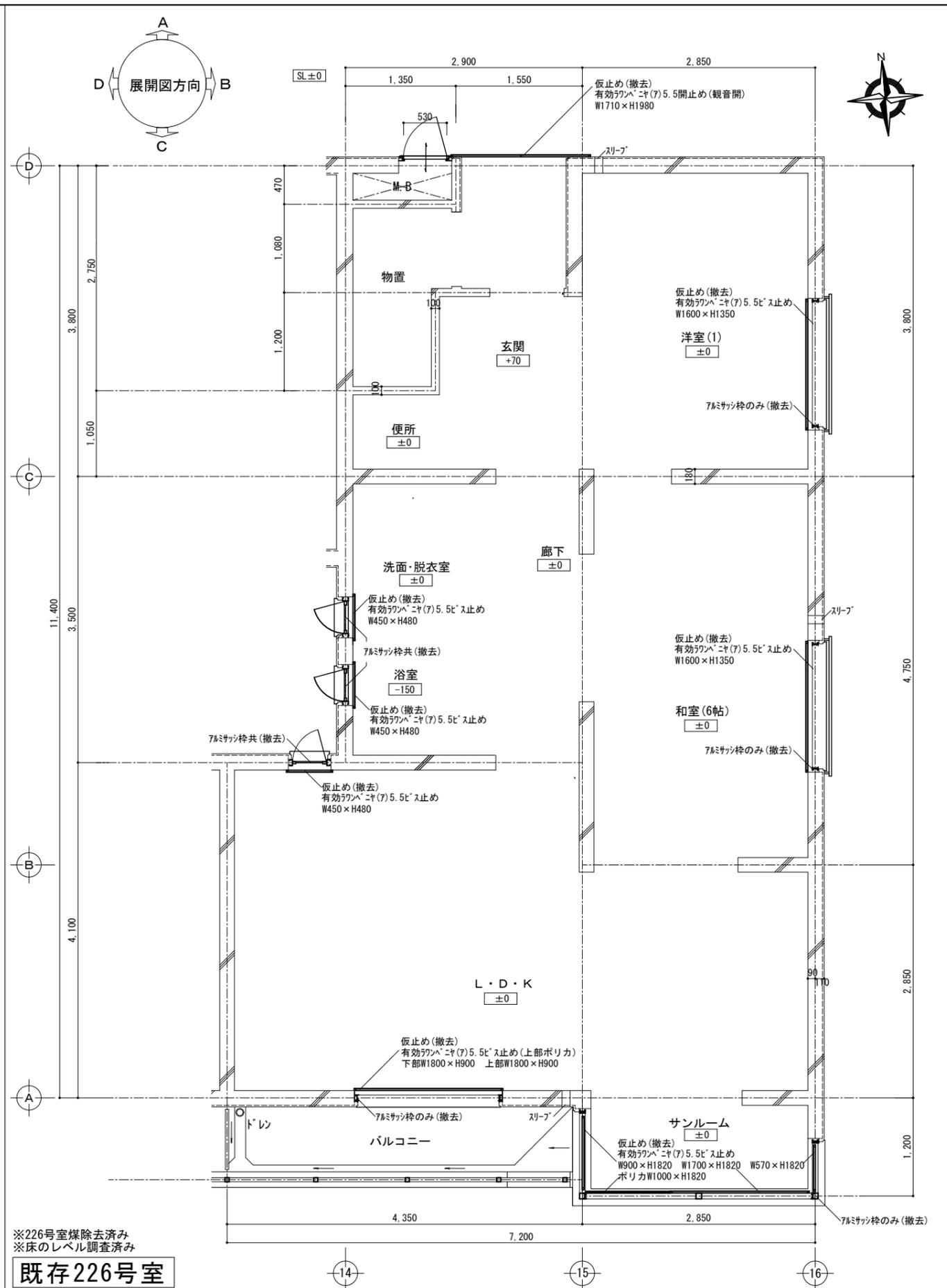
盛岡広域振興局土木部住宅課

設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
R4.11				県宮宮野目アパート (2号棟216・226号室) 災害復旧工事	—
	製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
			.	改修天井伏図	A-13

縮尺
A1:1/50
A3:1/100

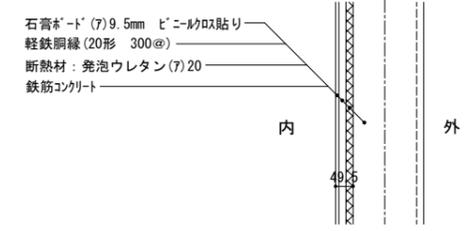
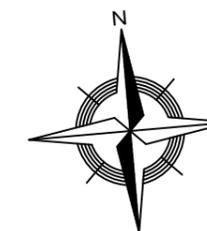


※床のレベル調査済み
既存216号室

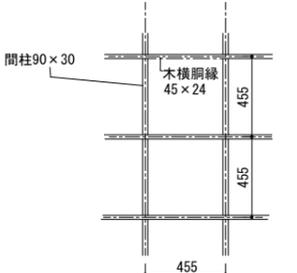


※226号室煤除去済み
 ※床のレベル調査済み
既存226号室

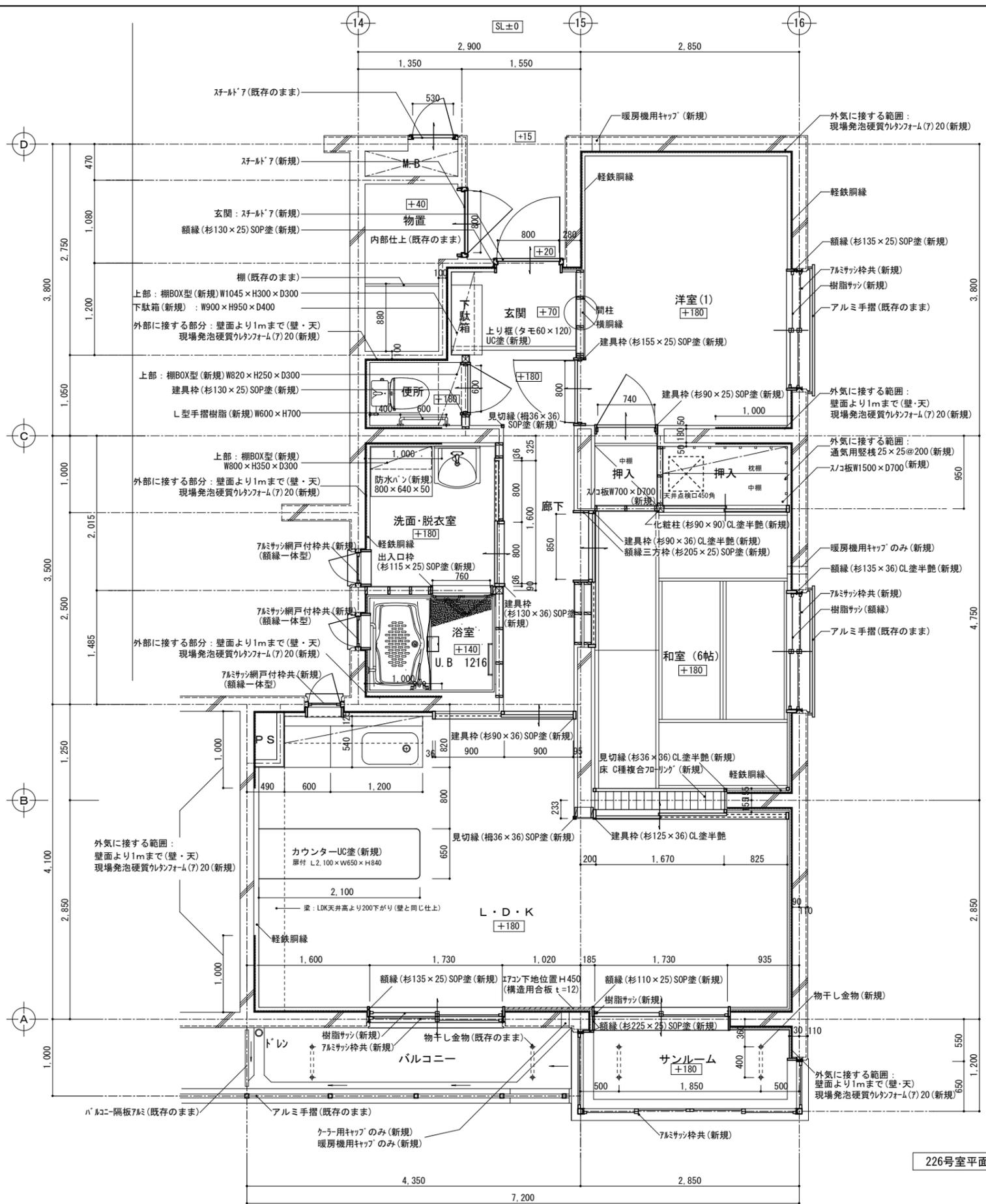
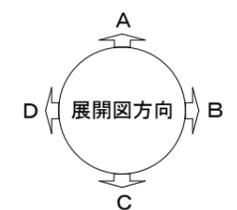
訂正	月日	盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
			R4・11				県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						216・226号室平面詳細図(既存)	縮尺	A-14
							A1:1/30 A3:1/60	



壁：外周部熱部断面詳細図 1/10
※216・226号室共通



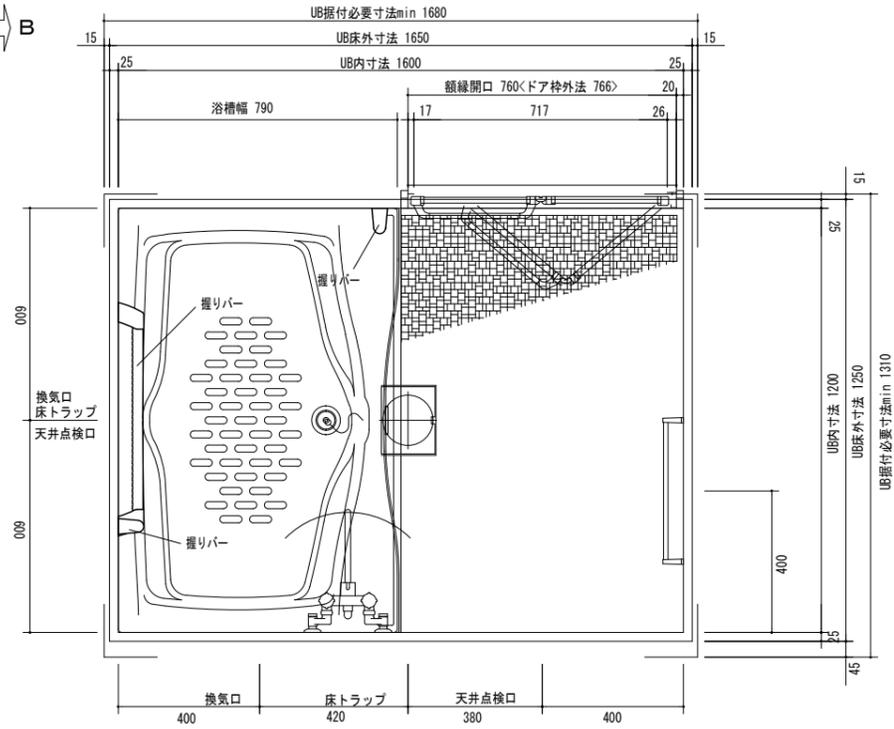
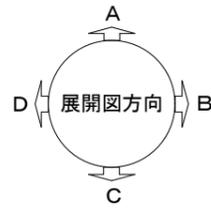
木間仕切：(胴縁組) 詳細図 1/20
※216・226号室共通



226号室平面詳細図 1/30

断熱材：(新規)
※改修アルミサッシ枠廻りと外壁はシーリング処理とする (MS-2, 幅・深さ10mm以上)
※胴縁はコンクリートに面する部分は軽鉄胴縁 (20形 300@) 一部間仕切り部は木横胴縁 (24×45 @455) とする
※CL塗半艶・SOP塗は下地調整の上2回塗 UC塗は肌直し後3回塗とする

室名	仕上げ
玄関	天井：軽鉄野縁 (19形 300@) 化粧石膏ボード (7)9.5 トナリ模様の 壁：軽鉄胴縁 (20形 300@) 一部木横胴縁 石膏ボード (7)9.5mm ビニルクロス (準不燃) 共通 床：マルチタイル仕上げ (既存のまま) 巾木：ラス板下地+モルタル金ゴテ
洋室 (1) (2) 廊下 L・D・K 洗面脱衣室 便所	天井：軽鉄野縁 (19形 300@) 化粧石膏ボード (7)9.5 トナリ模様の 壁：軽鉄胴縁 (20形 300@) 一部木横胴縁 石膏ボード (7)9.5mm ビニルクロス (準不燃) 床：クローブH=180 (バニタカ) ー t=20 C種複合フローリング (7)12 巾木：ビニル巾木 W=2 H=60
和室 (6帖)	天井：軽鉄野縁 (19形 300@) 石膏ボード (7)9.5mm ビニルクロス (準不燃) 壁：軽鉄胴縁 (20形 300@) 一部木横胴縁 石膏ボード (7)9.5mm ビニルクロス (準不燃) 床：クローブH=120 (バニタカ) ー t=20 +タタミ敷き (7)55 畳寄：木製 (H=60)
サンプルーム	天井：軽鉄野縁 (19形 300@) ケイ酸カルシウム板 (7)6mm突付 EP-G塗 (2) 壁：軽鉄胴縁 (20形 300@) ケイ酸カルシウム板 (7)6mm突付 EP-G塗 (2) 床：クローブH=180 (バニタカ) ー t=20 C種複合フローリング (7)12 巾木：ビニル巾木 W=2 H=60



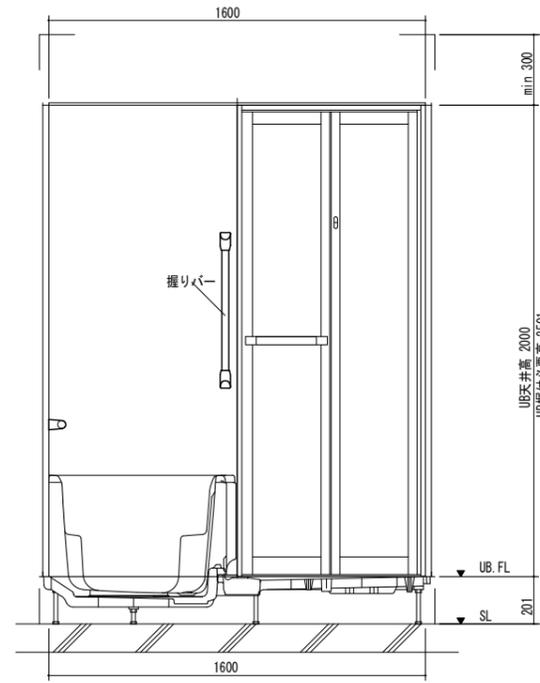
平面図 1/10

※UB据付必要寸法はドア部の寸法を含みません。ドア部の寸法は詳細図のドア取合をご確認ください。

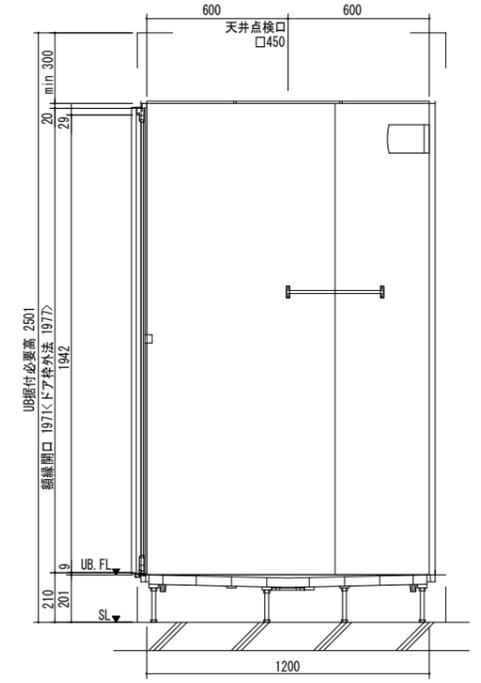
【仕様】

部位/項目	仕様 (寸法単位: mm)	備考 (色柄・品番等)	部位/項目	仕様 (寸法単位: mm)	備考 (色柄・品番等)
据付必要寸法	1310DYU+00D71680WYU+00D72501H		タオル掛	アルミパイプ L400 ブラケット: 樹脂製	TB-400E-K
内寸法	1200DYU+00D71600WYU+00D72000H		換気口	2体式換気グリル ABS樹脂製 換気口有効面積 42cm 接続口径 YU+03C6100	VG-100A (2) /458S
床	FRP 単色 モザイクパターン	N86	トラップ	ABS樹脂製 封水50mm	TP-47 (1)
壁	Lパネル(マット)	LE301	給水管	別途	
天井	化粧鋼板複合パネル	UE103	給湯管	別途	
ドア	折り戸: アルミアルマイト処理 (クレイドア) 面 材: 型板調樹脂板	VDY-8002003L (73) /WM	雑排水管	塩ビ管 VP50	
浴槽	FRP (浴槽内寸法 1082WYU+00D7660DYU+00D7500H) ゴム排水栓 風呂蓋無し	NW1	窓	フリーサイズ窓額縁キット 窓開口補強セット	R-1010P-24/W WR-121S
水栓金具	兼用: ツーハンドル壁付水栓(ノルマーレス) シャワー: スプレーシャワー	BF-WL115HNX (250) -PU BF-6JBP-PU1	握りバー	I型(ホワイト)L600 3本	8928-BTYPE-L600/W
シャワーヘッド	樹脂製(ホワイト) 2個	BF-30C-PU			
照明	スリム照明(防湿型) LEDランプ 1灯 VVFケーブル2芯3.0m(延長ケーブル1.5m含めて)付	LDA-C1-2A			

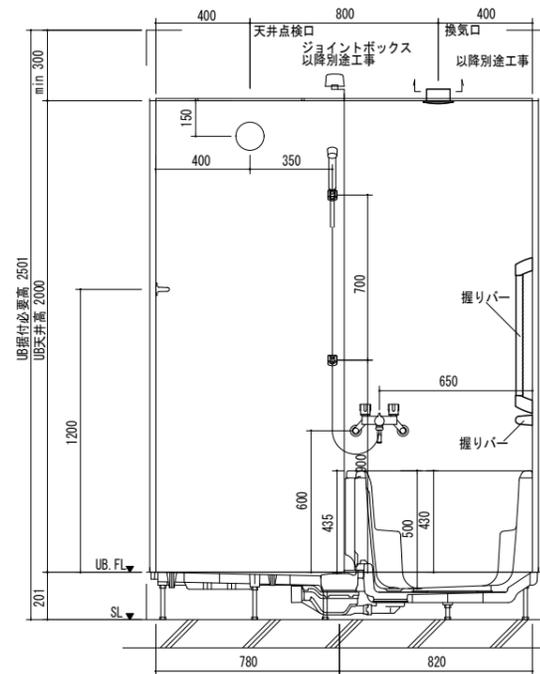
特記事項
握りバー取付位置は現場にてご確認ください。



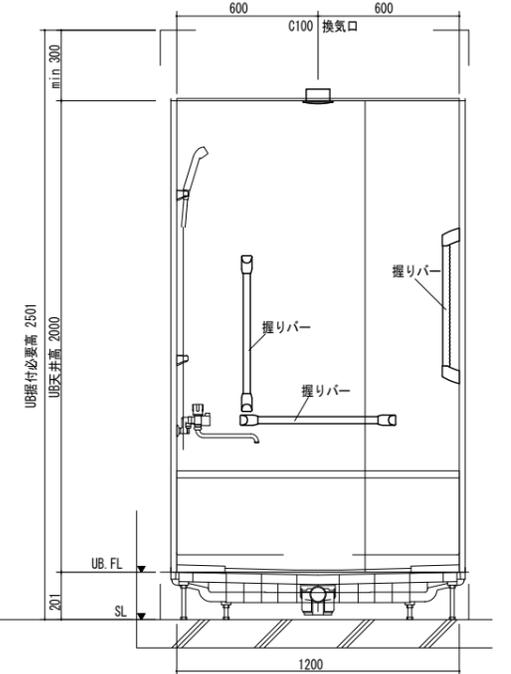
A面 1/15



B面 1/15



C面 1/15



D面 1/15

訂正	月 日	
	.	

盛岡広域振興局土木部住宅課

設計年月日 R4・11	設計	検図	受領印	工事名称 県営宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	設計番号 —
	製図	担当	受領年月日	図面名称 ユニットバス参考図 B L1216型	図面番号 A-19

縮尺
A1: 1/15
A3: 1/30

符号・数量	③ AW サンルーム 226号室 撤去後新設 216号室 既存のまま 1	④ AW LDK 226号室 撤去後新設 216号室 既存のまま 1	⑤ AW 和室・洋室 226号室 撤去後新設 216号室 既存のまま 2	⑥ AW ⑤A AW 226号室 撤去後新設 216号室 既存のまま 2	⑦ AW k・浴室・洗面 226号室 撤去後新設 216号室 網戸網張替え 3	① P 226号室 2 216号室 2	② P 226号室 1 216号室 1
姿図							
形態	4枚引き違い戸及び下部片袖ハメ殺シサッシ	引違い戸(換気エアースレストH=100)	引違い戸(換気エアースレストH=100)	引違い戸(換気エアースレストH=100)Fix付	整スベリ出し窓	引違い窓	引違い窓
仕上・見込	アルミ シルバー	アルミ シルバー 70	アルミ シルバー 70	アルミ シルバー 70	アルミ シルバー 70	断熱サッシ 70	断熱サッシ 70
硝子	引違い: FL3+A+FL3 袖・下部 F4+A+FL3 (Fix)	FL3 膜 F4	FL3 (Fw6.8)	FL3 (Fw6.8)	Fw6.8+A+5	F3 膜F4	F4
金具	クレセント 水切り	クレセント 水切り	クレセント 水切り	クレセント 水切り	7&3枠一体型	クレセント 引手	クレセント 引手 格子付
備考	網戸 網線: 杉90×25 SOP塗	網戸 網線: 杉135×25 SOP塗	網戸 網線: 杉135×25 SOP塗 柄135×36 CL塗	網戸 網線: 杉75×25 SOP塗	網戸	ホーゼル	ホーゼル

符号・数量	③ P 226号室 1 216号室 1	④ P 216号室 1	① SD 226号室 新設 216号室 既存のまま 1	② SD 226号室 新設 216号室 既存のまま 1	③ SD 226号室 新設 216号室 既存のまま 1
姿図					
形態	引違い窓	気密枠両面フラッシュ片開き戸	片開き両面フラッシュ戸	パイプシャフト	
仕上・見込	断熱サッシ	スチール(7)1.6mm 化粧鋼板 70	スチール(7)1.6mm 化粧鋼板 80	スチール(7)1.6mm 0.P(2)	
硝子	F4				
金具	クレセント 引手	シリリンダー錠 レバーハンドル ステンレス丁番3枚 戸当り D-C(ストッパーなし) ドアスコープ チェーン	シリリンダー錠 レバーハンドル ステンレス丁番3枚 D-C 三方錠付		
備考	ホーゼル	受け箱 気密用ガスケット 網線: 杉130×25肌直し+SOP(2)	網入 ガラリ付		

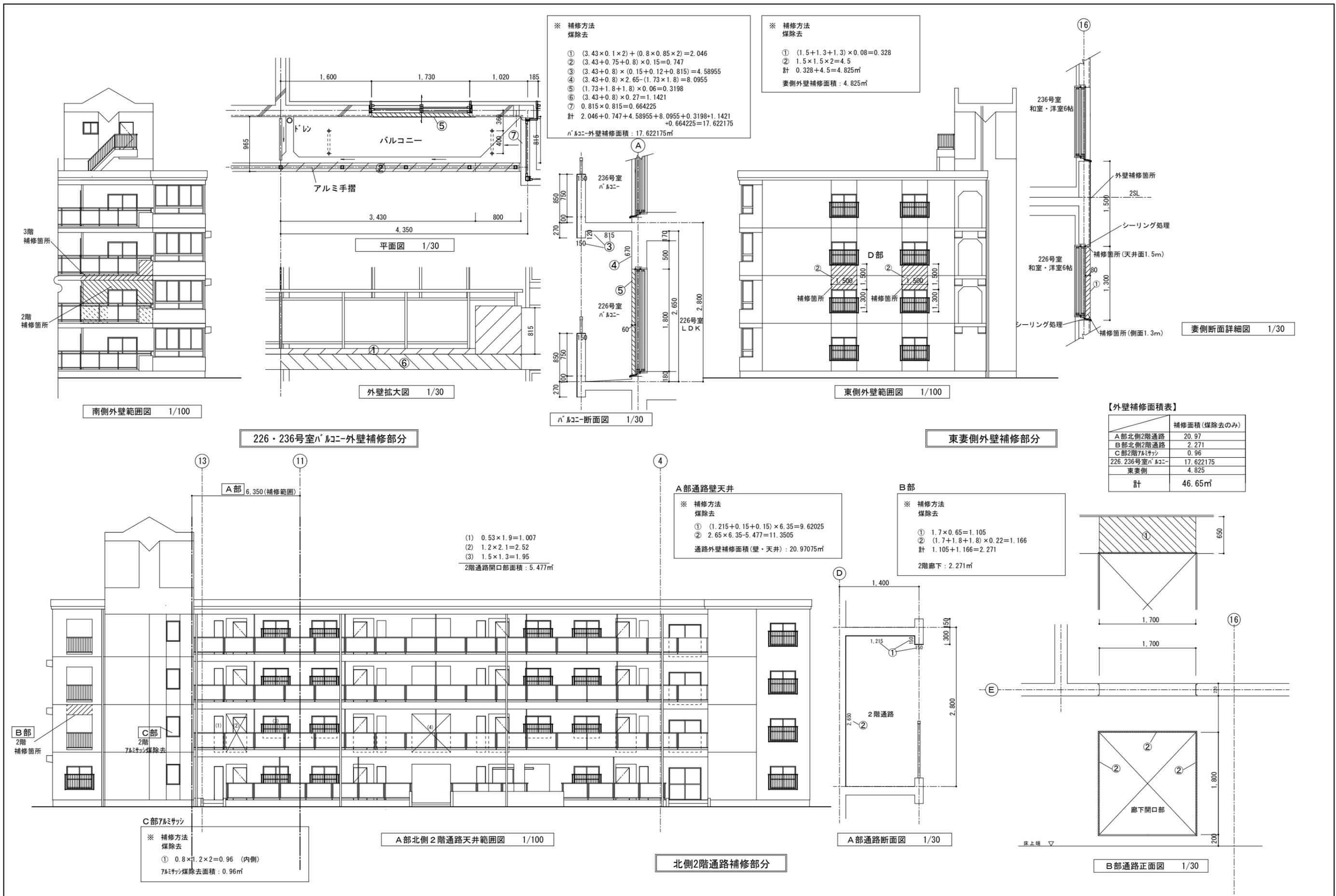
※アルミサッシ B.L. 認定品 C型(網戸取付可能製品とする)
材 料: アルミニウム合金押出型材
そ の 他: 下枠部分・・・モルタル詰め
網戸共通: ステンレス製
樹脂枠: プラスチックサッシ同等品

家具図・数量	① K 洗面所 226号室 1 216号室 1	② K トイレ 226号室 1 216号室 1	③ K 玄関 下駄箱上部 226号室 1 216号室 1	④ K 玄関 下駄箱上部 226号室 1 216号室 1
姿図				
用途	棚 (BOX型)	棚 (BOX型)	棚 (BOX型)	下駄箱
仕上	ポリ合板 フラッシュ ヌ25 組合せ	ポリ合板 フラッシュ ヌ25 組合せ	ポリ合板 フラッシュ ヌ25 組合せ	建具共
硝子	---	---	---	---
金具	---	---	---	棚受: アルミ製ダボウ 塩ビVレール9mm角 付属金物一式
備考	壁: 天井直付けビス止め H=2,100	壁: 天井直付けビス止め H=2,100	天井・壁: 直付けビス止め H=2,260	棚板: ポリ合板 フラッシュ 18×300 2枚

訂正	月 日	設計年月日 R4・11	設計	検図	受領印	工事名称 県営宮野目アパート(2号棟216・226号室)災害復旧工事	設計番号
			製図	担当	受領年月日	図面名称 改修建具表(1)	図面番号 A-21

盛岡広域振興局土木部住宅課

縮尺
A1: 1/50
A3: 1/100



※ 補修方法
煤除去

① $(3.43 \times 0.1 \times 2) + (0.8 \times 0.85 \times 2) = 2.046$
 ② $(3.43 + 0.75 + 0.8) \times 0.15 = 0.747$
 ③ $(3.43 + 0.8) \times (0.15 + 0.12 + 0.815) = 4.58955$
 ④ $(3.43 + 0.8) \times 2.65 - (1.73 \times 1.8) = 8.0955$
 ⑤ $(1.73 + 1.8 + 1.8) \times 0.06 = 0.3198$
 ⑥ $(3.43 + 0.8) \times 0.27 = 1.1421$
 ⑦ $0.815 \times 0.815 = 0.664225$
 ⑧ $0.815 + 1.421 + 0.664225 = 2.900225$

ハ'バルコニー-外壁補修面積 : 17.622175㎡

※ 補修方法
煤除去

① $(1.5 + 1.3 + 1.3) \times 0.08 = 0.328$
 ② $1.5 \times 1.5 \times 2 = 4.5$
 計 0.328 + 4.5 = 4.825㎡

妻側外壁補修面積 : 4.825㎡

【外壁補修面積表】

補修箇所	補修面積 (煤除去のみ)
A部北側2階通路	20.97
B部北側2階通路	2.271
C部2階7号ミサツ	0.96
226・236号室ハ'バルコニー	17.622175
東妻側	4.825
計	46.65㎡

<p>アルコープ—玄関</p> <p>アルコープ</p> <p>玄関</p> <p>シーリング充填</p> <p>額縁130×25</p> <p>110</p> <p>70</p> <p>110</p> <p>60</p> <p>上り框60×120</p> <p>180</p> <p>玄関廻り断面</p>	<p>便所—廊下</p> <p>便所</p> <p>廊下</p> <p>紙巻下地45×150</p> <p>600</p> <p>400</p> <p>300</p> <p>10</p> <p>15</p> <p>1800</p> <p>▽ FL</p> <p>180</p> <p>敷居130×36</p> <p>W-8建具断面</p>	<p>W-2 建具廻り</p> <p>鴨居90×36</p> <p>36</p> <p>DH</p> <p>LDK</p> <p>浴室</p> <p>LDK</p> <p>廊下</p> <p>DH</p> <p>9.5</p> <p>80</p> <p>180</p> <p>45</p> <p>5</p> <p>180</p> <p>敷居90×36</p> <p>W-2建具断面</p> <p>W-2建具断面</p>	<p>MB</p> <p>180</p> <p>20</p> <p>1.970</p> <p>520</p> <p>MB: SD3すず除去清掃</p> <p>MB建具断面</p> <p>MB建具正面</p>		
<p>サンルーム—LDK</p> <p>サンルーム</p> <p>LDK</p> <p>額縁225×25</p> <p>額縁110×25</p> <p>225</p> <p>110</p> <p>1815</p> <p>1200</p> <p>60</p> <p>敷居110×36</p> <p>C種複合フローリング (F)12mm フローターH=180 (ハチクネート)t=20</p> <p>額縁断面</p>	<p>バルコニー—LDK</p> <p>バルコニー</p> <p>LDK</p> <p>額縁135×25</p> <p>135</p> <p>1815</p> <p>180</p> <p>敷居135×45</p> <p>額縁断面</p>	<p>W-1 建具廻り</p> <p>鴨居125×36</p> <p>245</p> <p>150</p> <p>付鴨居36×36</p> <p>PB9.5mm EP 見切縁36×36</p> <p>LDK</p> <p>DH</p> <p>和室6.0帖</p> <p>寄せ木20×10 C種複合フローリング (F)12mm フローターH=180 (ハチクネート)t=20</p> <p>敷居125×36</p> <p>小根太40×40 @303</p> <p>C種複合フローリング (F)12mm フローターH=180 (ハチクネート)t=20</p> <p>W-1建具断面</p>	<p>押入 (和室6帖)</p> <p>950</p> <p>現場発泡硬質ウレタンフォーム(7)20</p> <p>枕棚受25×60</p> <p>S0-7ジョイント@1200</p> <p>LGS 40 20型</p> <p>根太: 36×36@303</p> <p>前縁: 30×90</p> <p>結露防止外部に面する押入 縦桟25×25@200 雑巾ずり6×21</p> <p>2300</p> <p>1800</p> <p>180</p> <p>750</p> <p>350</p> <p>鴨居90×36</p> <p>押入</p> <p>敷居90×36</p> <p>T157ウレタン75.5mm フローターH=120 (ハチクネート)t=20</p> <p>ス/コ板 1500×700</p> <p>和室6帖押入断面</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>凡例</p> <p>※ シーリング塗布</p> <p>[各詳細図共通]</p> </div>					
<p>訂正</p> <p>月 日</p>	<p>盛岡広域振興局土木部住宅課</p>			<p>設計年月日</p> <p>R4.11</p> <p>設計</p> <p>製図</p> <p>検図</p> <p>担当</p> <p>受領印</p> <p>受領年月日</p>	<p>工事名称</p> <p>県宮宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事</p> <p>図面名称</p> <p>部分詳細図</p> <p>縮尺</p> <p>A1: 1/30</p> <p>A3: 1/60</p> <p>設計番号</p> <p>—</p> <p>図面番号</p> <p>A-24</p>

電気設備改修工事 特記仕様書

- 1. 工事概要
1. 工事名称 県営宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事
2. 工事場所 岩手県花巻市西宮野目第8地割355番
3. 建物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数 (地上, 地下, 塔屋), 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1の区分, 備考

3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)

Table with 2 columns: 工 事 種 目, 備 考. Lists various electrical equipment items like lighting, power, and communication equipment.

- 4. 指定部分 ●なし
○あり 範囲:

II. 工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
●公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事情) (最新版) (以下「標準仕様書」という。)

一般共通事項

- 環境への配慮

- 他工事との取合い
○ 耐震措置

- 仮設工事

- 保 険

- アスベスト含有製品調査

- 埋戻し及び土

- 完成時の提出図書

- 電源周波数

- はつり

- (1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (平成28年2月閣議決定)」による特定調達品目の場合には判断の基準等を満たすものとする。
(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、繊維材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

- (3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

耐震措置の計算及び施工方法は、次に示す事項以外、すべて建築設備耐震設計・施工指針 (独立行政法人建築研究所 監修 2014年版) による。

Table with 4 columns: 機器種別, 重要機器, 一般機器, 重要機器, 一般機器. Lists equipment types and their seismic ratings.

- ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・重要機器は次のものを示す。
○ 配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置
○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機
○ 中央監視装置 ○ パワーコンディショナ ○

- (2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(3) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(4) 建築工事の部 特記仕様書による。
○ 監督職員事務所
○ 放ける。(規模及び仕上げの程度、設置する備品等の種類及び数量は工事補足説明事項書による。)
○ 放けない。

- 足場その他
● 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。
● 本工事で設置する。
足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○ 内部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ F種 ○ G種
○ 外部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ F種
防護シート ○ 設置する ○ 設置しない

- 材料、撤去材等の運搬方法 (建築工事情 2.2.1 表2.2.2による。)
種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
○ 仮設間仕切り 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種
● 既設部分の養生 ● 行う (●印は必ず行う) ○ 行わない
本工事の請負者は、工事期間中工事的目的物及び工事資材に対して下記により組立保険に加入し、その保険証書の写しを監督員に提出する。
加入金額 請負金額の100%
加入時期及び期間 資材搬入前から工事完成30日後まで

- イ) 撤去機器、器具等についてアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲 (○)
調査方法 (○) (○)
ロ) 下記のアスベスト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、○ 本工事 ○ 別途 とする。
○

- 種別 ○ 根切り土
○ A種 ○B種 (ただし、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の層)

- 完成図等
● 完成図等 ● 改修標準仕様書1.11.2～1.11.3による。 ○
● 写真 ● 工事用、完成用とカラーとし、監督員の指示による。
● その他書類 ● 監督員の指示による。 ○
○ 電子納品対象書類については、「岩手県電子納品ガイドライン」による。

- 50 Hz
はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。

一般共通事項

- 非破壊検査
○ あと施工アンカー

- 撤去跡の修繕
● 既存施設等の復旧

- 支持金物・固定金具

- 再使用品の清掃等

- 既存壁の改修

- 総合調整

- 保温、結露防止

- 合成樹脂製可とう管

- 電線本数、管路など

- 電線・ケーブル

- 厚銅電線管

- インサート

- 呼び線

- フラッシュプレート

- フロアプレート

- 発電機回路用コンセント

- 接地極の種類及び位置表示

- 塗装

- 機器取付高さ

- 防火区画貫通部の処理

- 施工条件

各設備

- タンブラスイッチ

- OA・フロア用配線器具の蓋

- ハンディ用 OAケーブル

- 人感センサー用プレート

- けいりょく付きワイヤレス

- LED照明器具

- 照度測定試験

- 分電盤

- 動力設備

- インバータ装置の規約効率

- 受信調査

- イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
イ) あと施工アンカー 接着系アンカー (接着剤 (有機系))
金属拡張系アンカー (本体打込み式)
ロ) 試験 性能確認試験 ○ 行わない ○ 行う
施工後確認試験 ○ 行う ○ 行わない

- 撤去跡の修繕
● 既存施設等の復旧
施工に際し既存設備、施設等に損害を及ぼした場合は、原状に復旧する。

- イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物 (ボルト類) はステンレス製 (SUS304) とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ (樹脂製) を取り付ける。
ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

- 再使用する機器類は現場内で清掃の上、絶縁抵抗を測定して取り付ける
○ 下記種類の改修等は、製造者等による作業とする。
○ 分電盤 ○ 制御盤 ○ 受変電盤 ○
○ 盤類の改修完了後に下記資料を監督職員に提出する。
○ システム機能動作確認書 ○ 事前機能確認書 ○ 試験、調整確認書
○ 盤類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。

- 各機器の個別運転後に下記の総合調整を行い、機能確認報告書を監督職員に提出する。
○ 照明装置 ○ 受変電設備 ○ 発電設備
○ 横内交換機 ○ 横内情報通信網設備 ○

- 外部に面する壁、天井及び建築工事でPF板 (スタイロホーム) 打ち込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは保温、結露防止の処理を行う。

- 合成樹脂製可とう管はPF管 (一重管) とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線丈、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

- 新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
屋外で使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき (めっき付着量300g/㎡以上) 」仕上とする。

- 床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上の樹脂被覆鉄線管を挿入する。

- 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製
○ 鋼合金製 水平調整付プレート (空転防止リング付) とする。
○ アルミ製

- 発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

- 居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。
下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
(○ 居室 ○ ○)

- 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。ただし、表によりがたい場合は監督員と協議する。

- 防火区画貫通部の処理は建築基準法等関係法令に適合する工法による。

- 本工事は、仕様を使用しながら行う工事である。

- ネーム付とする
○ アルミ製 ○ 樹脂製

- 特記の無いハネスジョイント用OAタップは次の使用とする。
2P15A (接地極付き抜止型) ×4 コード3m (マグネット付き) 通電表示灯付き

- 照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質: アクリル板 文字: 印刷文字
参考文例: 「人の動きを検知して点灯いたします。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室: ○ 便所 ○

- 天井内に取付けるターミナルユニット付きリモコンレシーの設置場所は、直滅系統内の第1照明器具近傍とする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。
LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般型 (LN)」とする。

- 一般照明の照度測定は、明るさセンサが設置される部屋がセンサ1個につき1ヶ所以上 (明るさセンサの設定値共) 設置されない部屋は1ヶ所以上の測定を行う。
5個以上の場合 (PF22) を2本、天井まで立上げる。
○埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合 (PF22) を1本、5個以上の場合 (PF22) を2本、天井まで立上げる。

- 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ (100V2P1E、200V2P2E) とする。
制御盤等で配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けない。

- 三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の値以上とする。

Table with 2 columns: 電動機出力 (Kw), 規約効率 (%). Lists efficiency values for different motor types.

- 備考
(1) 規約効率は、JEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2) 規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極50Hzの電動機を駆動した時の値とする。

- 標準仕様書の受信調査を行う。(チャンネル数)

工事内容

- 工事内容

- ①電灯コンセント設備 電灯盤 L-1 を更新
②電灯コンセント設備 照明器具をLED器具に更新。物置は既存の器具を再使用する
③電灯コンセント設備 スイッチ・コンセント・電線を更新。物置・廊内は既存を再使用する
④自動火災報知設備 住戸用自火報知受信機 (GP型受信機) ・戸外表示器 (遠隔操作機能付玄関子機) ・感知器・電線を更新する
⑤電話配管設備 電話線・ノズルプレートを更新
⑥TV共聴設備 ケーブル・並列ユニット・プレートを更新
⑦共聴 既存配管は再使用する
⑧撤去工事 上記更新内容に合わせた既設機器の撤去・処分

表1「接地極一覧表」

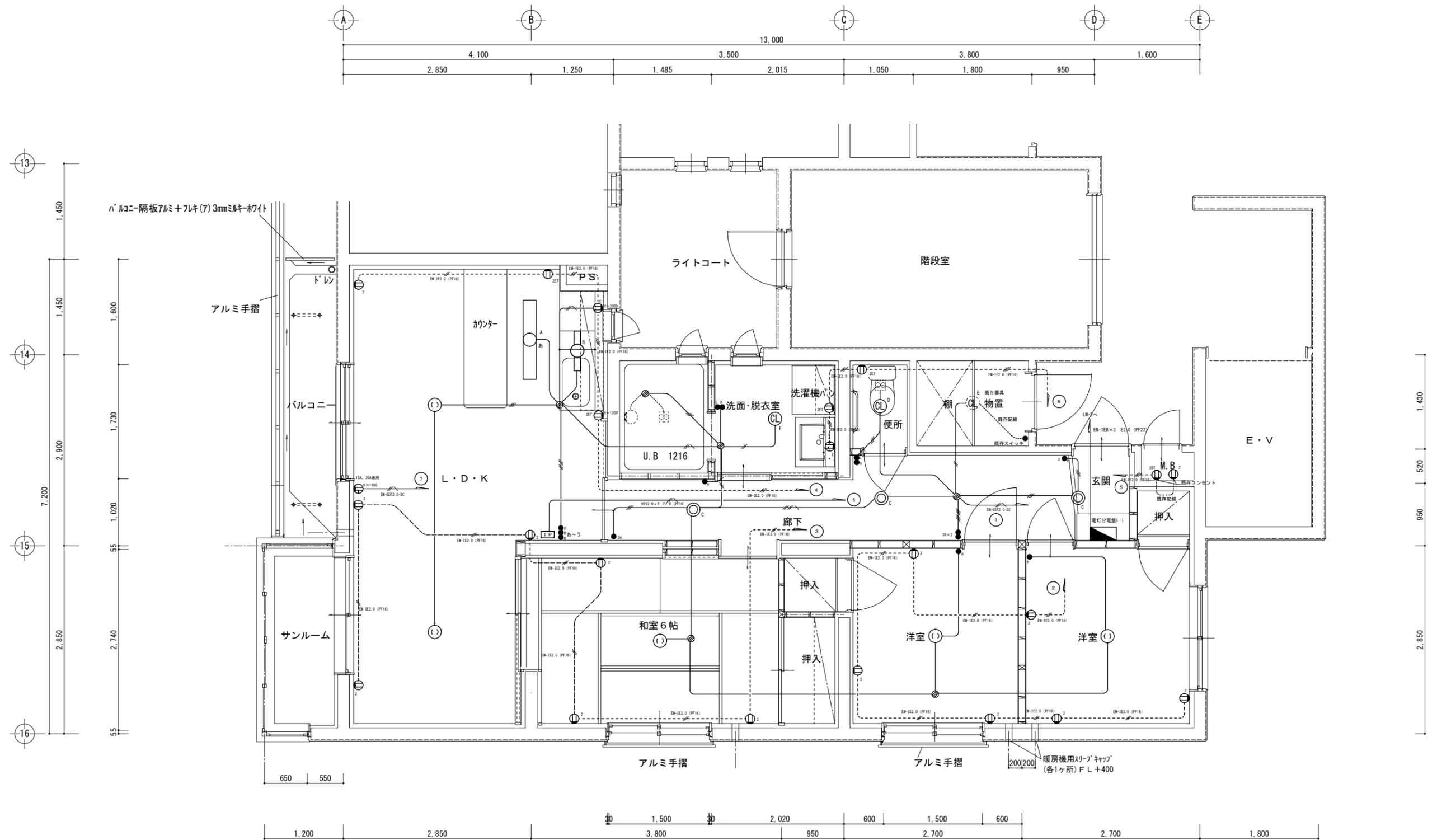
接地極の種類は下記を標準とし、EBの長さは1.500mmとする。ただし、D=10は1.000mm、W=30は1.200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設は不要とする。

Table with 4 columns: 接地極の種類, 記号, 接地抵抗, 接地極の規格、数量. Lists grounding electrode specifications.

表2「機器取付高さ」

Table with 4 columns: 機 器, 測 点, 取付高 (mm), 機 器, 測 点, 取付高 (mm). Lists equipment installation heights.

Table with 6 columns: 訂正, 月 日, 設計年月日, 設計, 検図, 受領印, 工事名称, 設計番号. Includes project details and revision information.



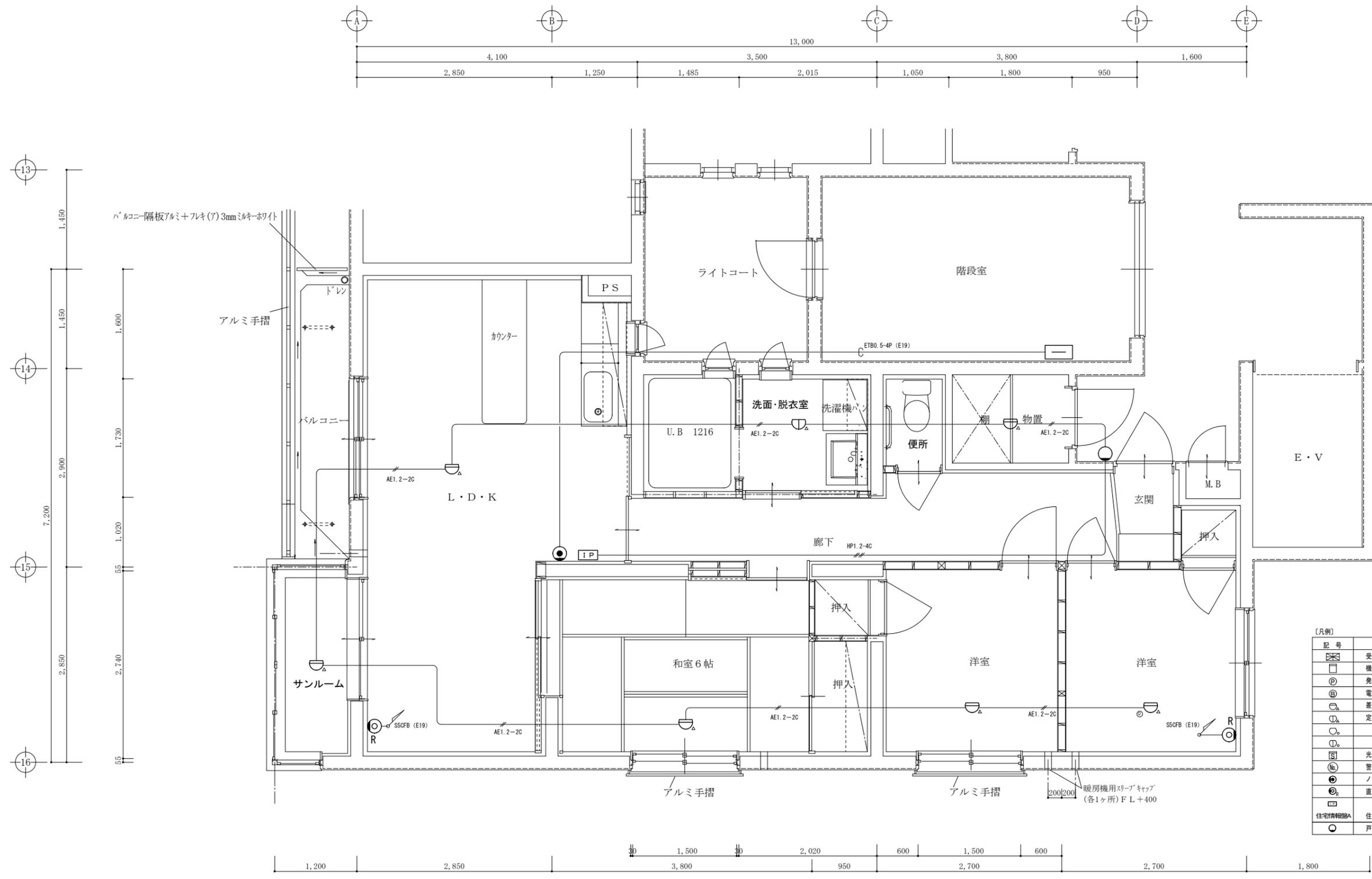
照明器具番号	取付箇所	取付個数
A	台所	1台
B	洗面元	1台
C	廊下	3台
D	便所	1台
E	物置	既存
F	洗濯所	1台

特記なき配線は下記による。	
—#—	EM-EFF 2.0-2C
—#—	EM-EFF 2.0-3C
—#—	EM-EFF 1.6-2C
—#—	EM-EFF 1.6-3C
—#—	EM-EFF 1.6-2C×2
—#—	EM-EFF 1.6-2C×3C
—#—	EM-EFF 1.6-3C×2
—#—	EM-IE2.0×2 (PF16) ※配管は既存部分を再使用することとする
—#—	EM-IE2.0×3 (PF16) ※配管は既存部分を再使用することとする
—#—	既存配線

216号平面詳細図 1/30

〔凡例〕			
記号	名称	備考	
●	埋込スイッチ (ワイド)	1P-15A ぼたるスイッチ形 PL表示ネーム付樹脂製	
●	"	3P-15A ぼたるスイッチC、"	
●	"	4P-15A ぼたるスイッチE、"	
●	"	1P-4A、A' (2)スイッチ、"	
○	丸形引掛けシーリング		

〔特記事項〕	
図中特記なき記号は下記による。	
●	電灯分電盤
○	埋込コンセント 2P15A×1
○	埋込コンセント 2P15A×2
○	埋込コンセント 2P15A×1E付
○	埋込コンセント 2P15A×1E付
○	埋込コンセント 2P15A×2ET付
○	防水コンセント 2P15A×2ET付

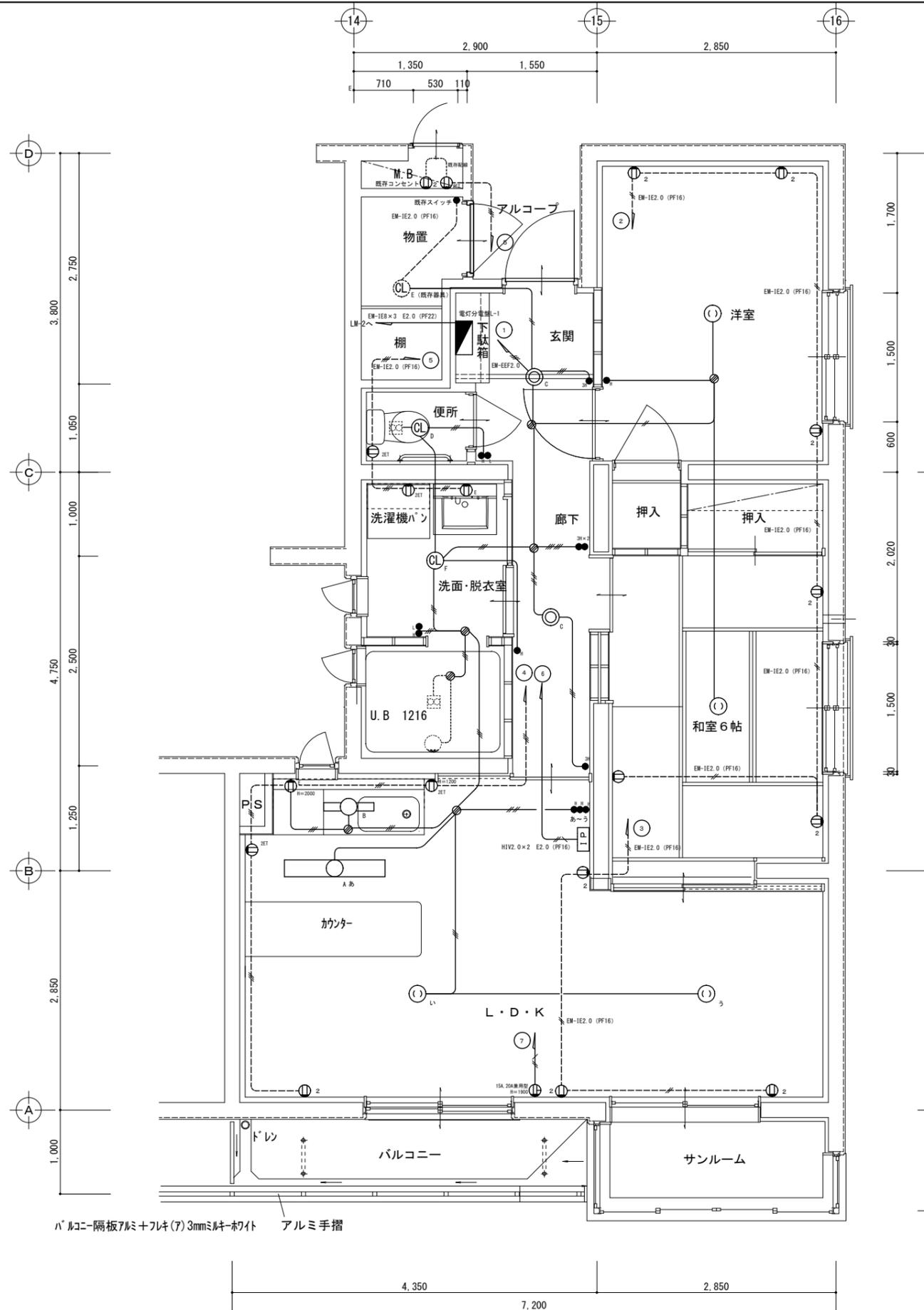


【凡例】

記号	名称	備考
☒	受信機	P型2線5回線、壁掛型
☐	機器収納箱	P型2線、埋込型 ② ③ 収容
⊙	発信機	P型2線 リング型表示灯付
⊕	電話	DC24V
⊖	差動式スポット型感知器	2種 遠隔試験機能付
⊖	定温式スポット型感知器	1種、防水型 遠隔試験機能付
⊖	"	特種
⊖	"	特種、防水型
⊖	光電式スポット型感知器	2種 ※は天井ウラ
⊖	警戒区域線番号	火災表示用 (⊖) ※
⊖	ノズルプレート	
⊖	直列ユニット	端末
⊖	住宅情報①	住戸用自火報受信機 セキュリティインターホン
⊖	戸外表示器	遠隔試験機能付 玄関子機

216号平面詳細図 1/30

訂正	月日		盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	R4・11	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
				製図	担当	受領年月日	図面名称	216号室弱電 自動火災報知・電話・TV共聴設備図	縮尺	図面番号
									県宮野目アパート(2号棟216・226号)火災復旧工事	—
									216号室弱電 自動火災報知・電話・TV共聴設備図	E-03



(特記事項)
 図中特記なき記号は下記による。

●	電灯分電盤
○	埋込コンセント 2P15A×1
○	埋込コンセント 2P15A×2
○	埋込コンセント 2P15A×1E付
○	埋込コンセント 2P15A×1E付
○	埋込コンセント 2P15A×2E付
○	埋込コンセント 2P15A×2E付
○	防水コンセント 2P15A×2E付

(凡例)

記号	名称	備考
●	埋込スイッチ (ワイド)	1P-15A ほたるスイッチB. PL表示ネーム付樹脂製
●	"	3W-15A ほたるスイッチC. "
●	"	4W-15A ほたるスイッチE. "
●	"	1P-4A, n 401スイッチ. "
○	丸形引掛けシーリング	

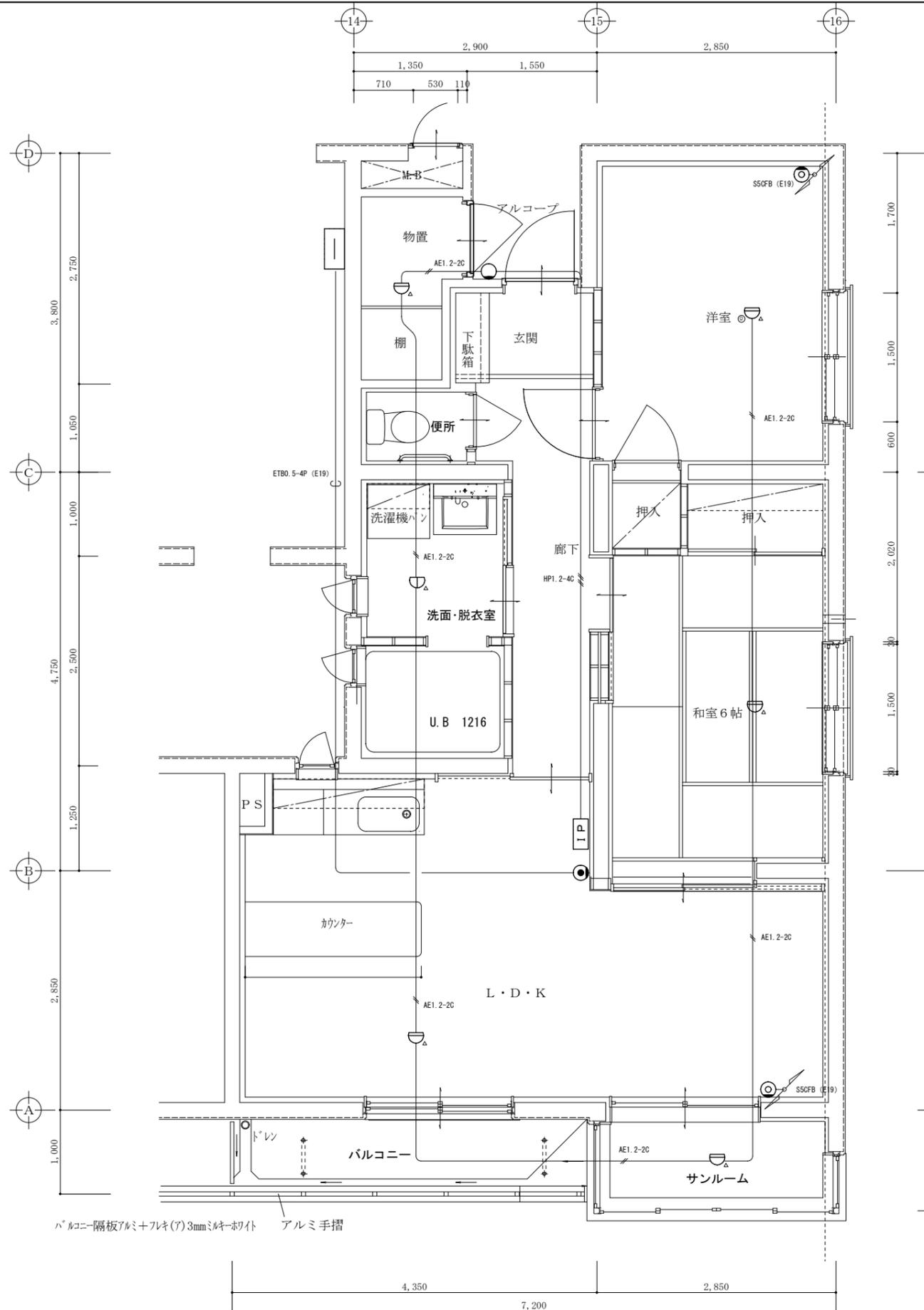
特記なき配線は下記による。

—	EM-EEF 2.0-2C
—	EM-EEF 2.0-3C
—	EM-EEF 1.6-2C
—	EM-EEF 1.6-3C
—	EM-EEF 1.6-2C×2
—	EM-EEF 1.6-2C×3C
—	EM-EEF 1.6-3C×2
—	EM-IE2.0×2 (PF16) ※配管は既存部分を再使用することとする
—	EM-IE2.0×3 (PF16) ※配管は既存部分を再使用することとする
—	既存配線

照明器具番号	取付箇所	取付個数
A	台所	1台
B	流し元	1台
C	廊下	3台
D	便所	1台
E	物置	既存
F	洗面所	1台

226号平面詳細図 1/30

盛岡広域振興局土木部住宅課

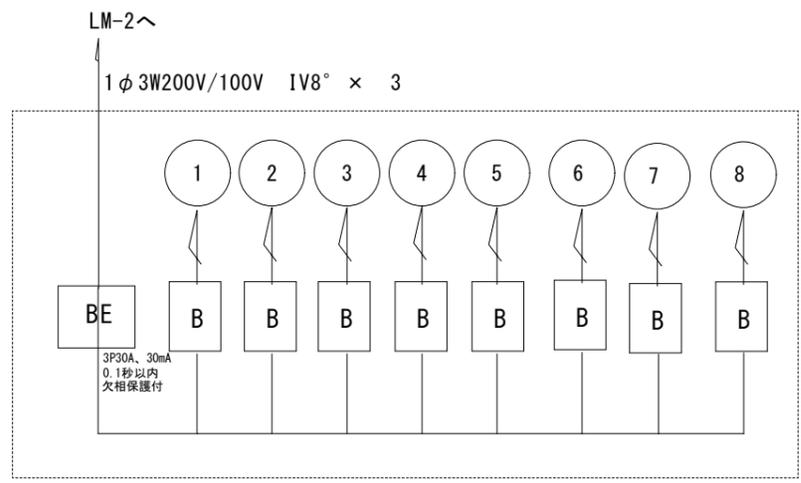


〔凡例〕

記号	名称	備考
☒	受信機	P型2級5回線、壁掛型
☐	機器収納箱	P型2級、埋込型 (P) (Q) 取付
Ⓟ	発信機	P型2級、リング型表示灯付
Ⓠ	電鈴	DC24V
Ⓡ	差動式スポット型感知器	2種、遠隔試験機能付
Ⓢ	定温式スポット型感知器	1種、防水型、遠隔試験機能付
Ⓣ	〃	特種
Ⓤ	〃	特種、防水型
ⓖ	光電式スポット型感知器	2種、ⓖは天井ウラ
ⓗ	警戒区域線番号	火災表示用、ⓗは〃
Ⓣ	ノズルプレート	
Ⓤ	直列ユニット	ライン用
Ⓡ	住宅情報	住戸用自火報受信機
Ⓢ	〃	セキュリティインタホン
Ⓣ	〃	遠隔試験機能付 玄関子機

特記なき配線は下記による。

—//—	AE 1.2-2C
—///—	AE 1.2-4C
—HP 1.2-4C—	HP 1.2-4C
—	

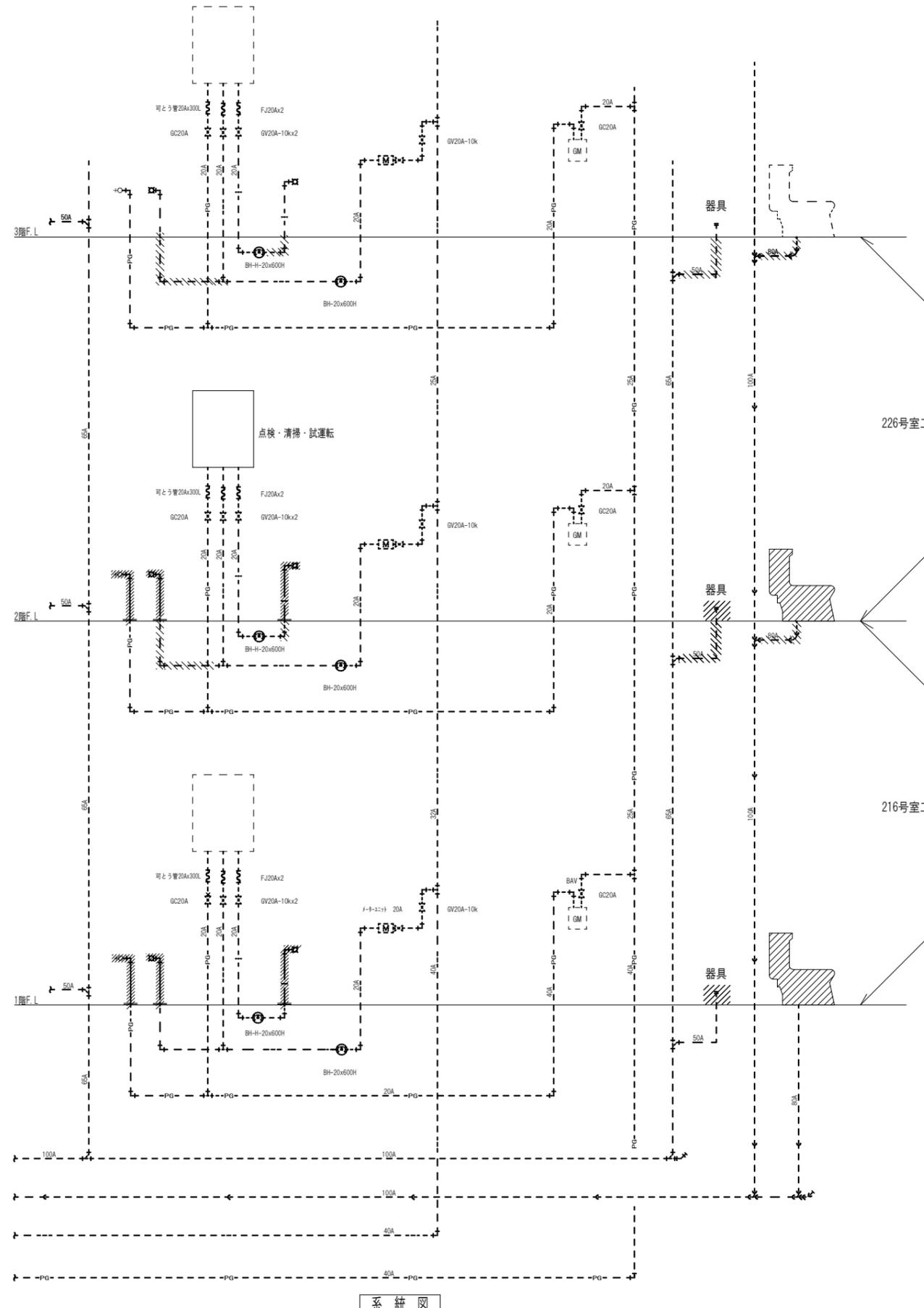


電灯分電盤 (市販品プラスチック製)
1φ3w主幹ELB3P30A 8回路

- 回路名
- ① 電灯
 - ② 洋室コンセント
 - ③ 和室・リビングコンセント
 - ④ D・Kコンセント
 - ⑤ 洗面所・便所コンセント
 - ⑥ インタホン
 - ⑦ LDKエアコン
 - ⑧ 予備

A	台所 × 1	B	流し元 × 1	C	廊下 216号×3、226号×2	D	便所 × 1
 OL551289NR 直管形LED 14.4W 5000K 巾218 長684 高98 高演色LED 調光器不可		 OB255232 LED 9.2W 5000K 巾547 高50 出107 調光器不可		 OD361204NDR LED電球フラット形 5W 5000K 巾φ114 埋込穴φ100 埋込高75 高演色LED 調光器不可		 OL013247LR LED電球一般形 7.2W 2700K 巾φ140 高163 高演色LED 調光器不可	
E 物置 (既存照明器具再使用) × 1		F 洗面所 × 1					
		 OW269045LR LED電球一般形 7.2W 2700K 巾φ140 高168 高演色LED 防湿型 調光器不可					

照明器具姿図



工事内容

2階火災による配管保温の復旧、器具復旧に伴うスラブ上配管を行う。

1階216号室作業内容

- A. 衛生器具更新
- B. 衛生器具更新に伴うスラブ上配管撤去後、更新配管及び保温工事
- C. 226号室分、天井内給水管、給湯管、排水管保温工事

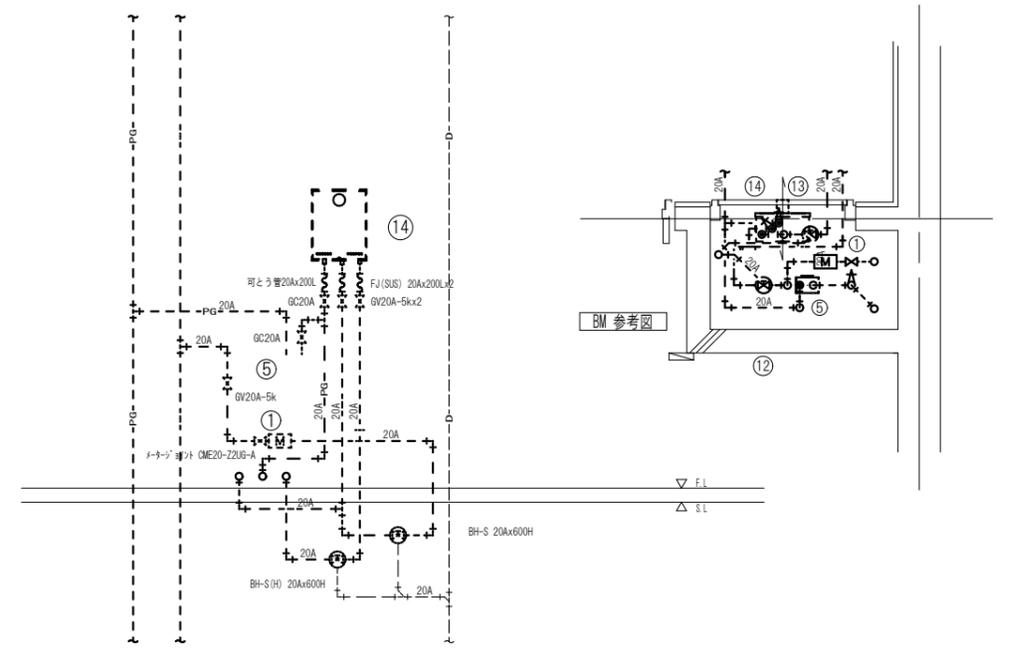
2階226号室作業内容

- A. 衛生器具更新
- B. 衛生器具更新に伴うスラブ上配管撤去後、更新配管及び保温工事
- C. 236号室分、天井内給水管、給湯管、排水管保温工事

凡例

- 配管撤去・更新配管・保温工事(ガス管除く)を示す。
- 保温工事部分を示す。
- 既設、新設接続を示す。
- 汚水管
- 雑排水管
- 給水管
- PG 給湯管
- 階上水抜栓
- 水道メーターユニット
- GV・GC

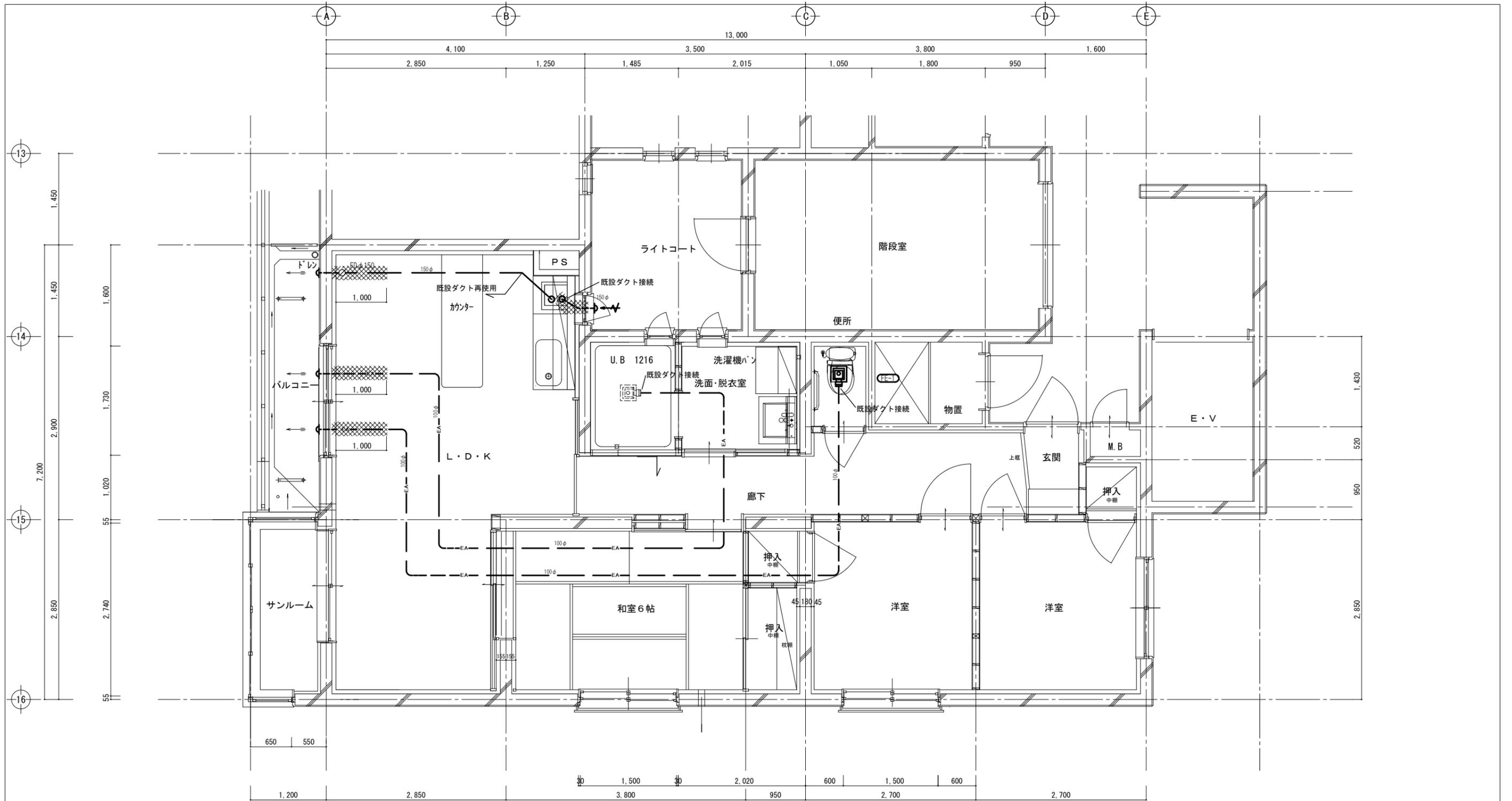
MB室断面詳細図 1/30



訂正	月	日

盛岡広域振興局土木部住宅課

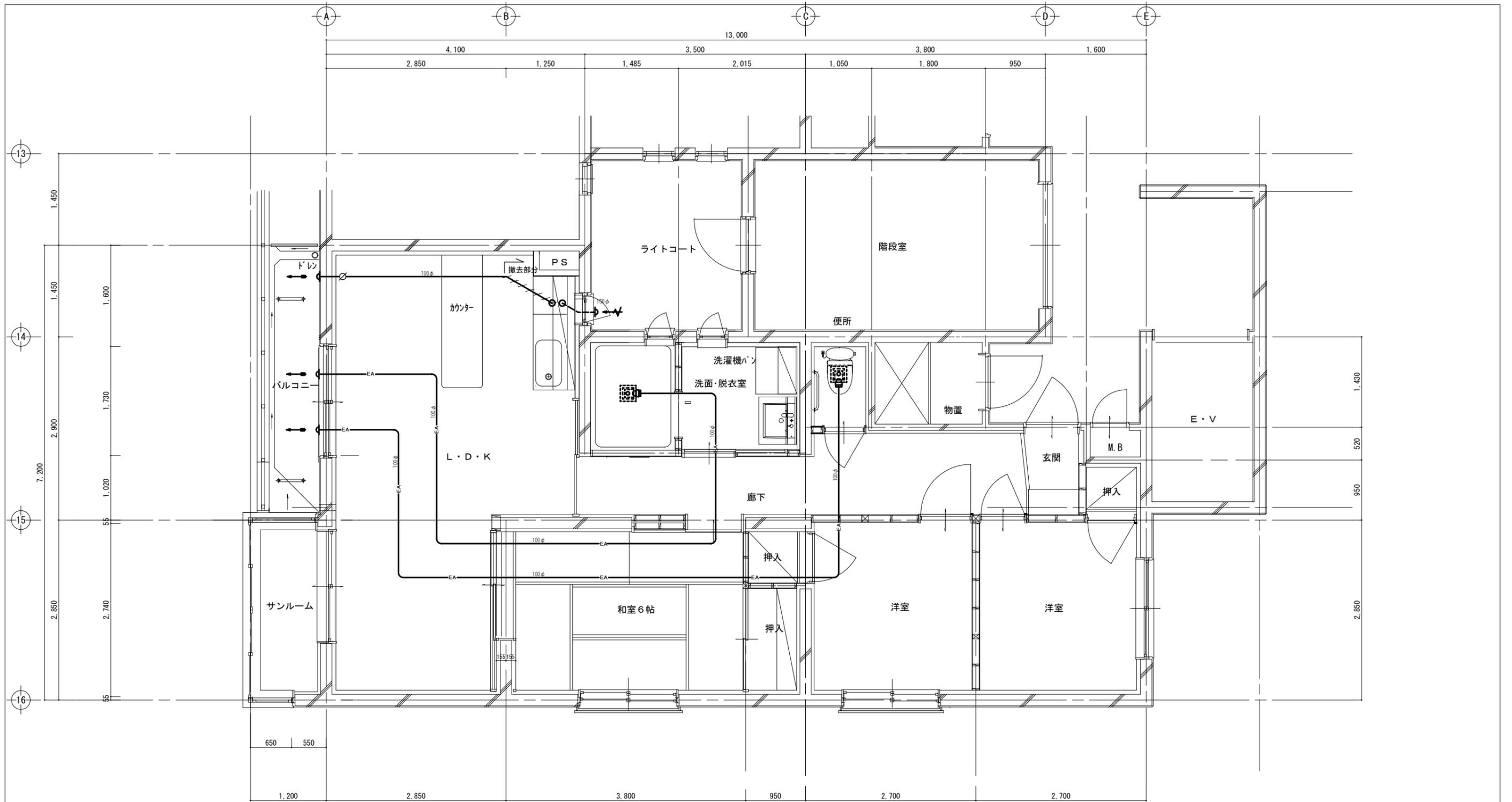
設計年月日 R4. 11	設計	検図	受領印	工事名称 県営宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	設計番号 —
	製図	担当	受領年月日	図面名称 衛生設備 MB内・系統図	図面番号 M-03
				縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60	



216号室平面詳細図 1/30

凡例	—EA—	新設ダクト
	- -EA- -	既設ダクト再使用
	XXXXXX	断熱GW25 (厨房GW25)

訂正	月 日	盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
			R 4. 11				県営宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	—
			製図	担当	受領年月日	図面名称	換気設備 216号室平面詳細図(改修)	図面番号
							縮尺 A1:1/30 A3:1/60	M — 07

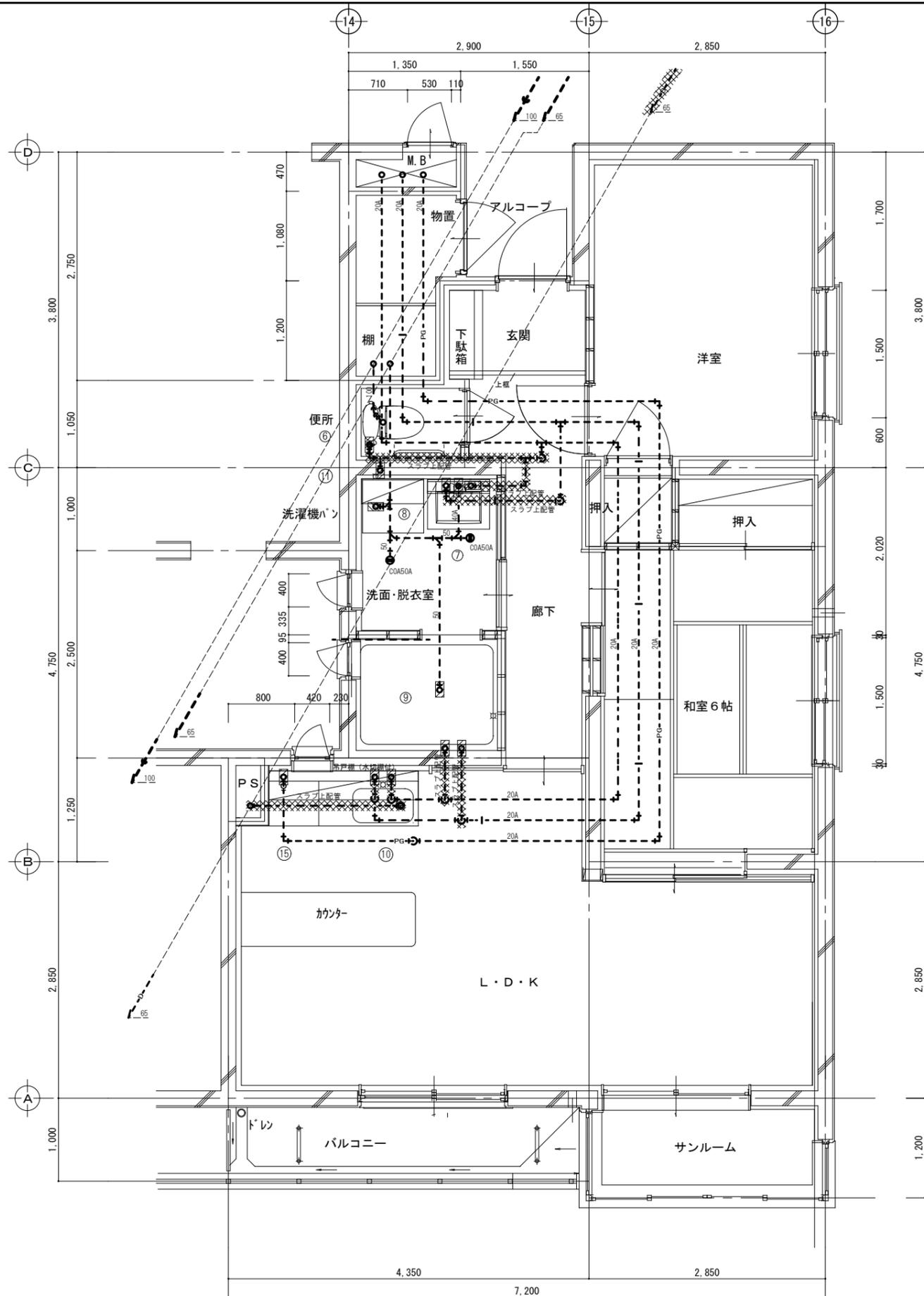


216号室平面詳細図 1/30

凡例
 //////////////// 撤去部分を示す。

断熱材は撤去済み

訂正	月日	盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.		R4・11				県宮宮野目アパート(2号棟216・226号室)火災復旧工事	—
				製図	担当	受領年月日	図面名称	図面番号
						.	換気設備 216号室平面詳細図(撤去図)	A1: 1/30 A3: 1/60



L・D・K 汎し器具接続	
給水管 (SP-PB) 20A	0.5m
給湯管 (HTLP) 20A	0.5m
排水管 (VP) 50A	1.0m

L・D・K ガスレンジ 器具接続	
ガス管 (GSP) 20A	0.5m

U・B 器具接続	
給水管 (SP-PB) 20A	0.5m
給湯管 (HTLP) 20A	0.5m
排水管 (VP) 50A	0.5m

洗面・脱衣室洗面こぼし器具接続	
給水管 (SP-PB) 20A	0.5m
給湯管 (HTLP) 20A	0.5m
排水管 (VP) 40A	0.5m

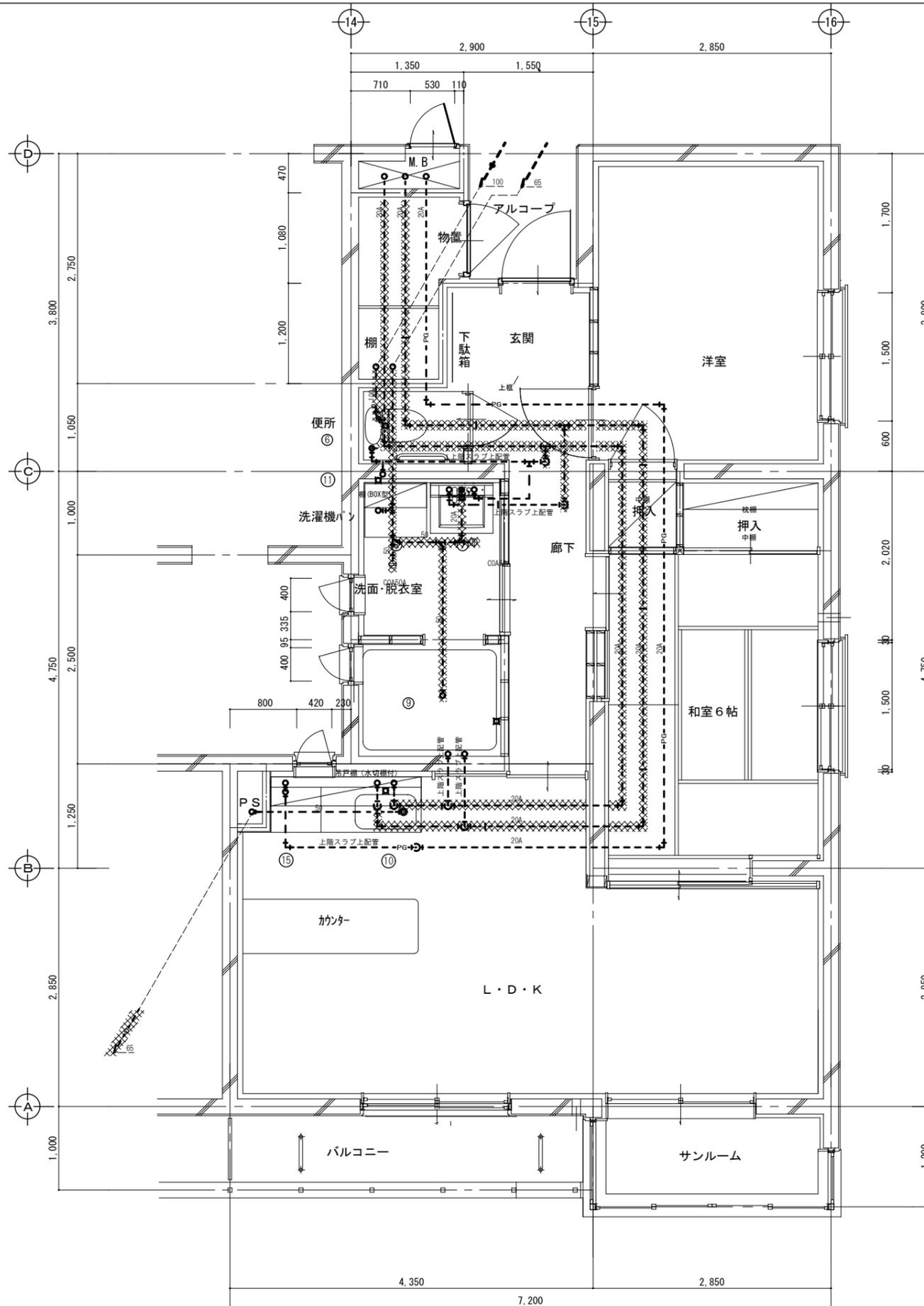
洗面・脱衣室洗濯機パン 器具接続	
給水管 (SP-PB) 20A	0.5m
排水管 (VP) 50A	0.5m

便所 器具接続	
給水管 (SP-PB) 20A	0.5m

凡例	
	更新配管・保温工事(ガス管除く)を示す。 (器具接続部分)
	保温工事部分を示す。
	既存再使用配管を示す。

226号室平面詳細図 s : 1/30

訂正	月日	盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	R4.11	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
					製図	担当	受領年月日	県宮宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	—
								図面名称	図面番号
								衛生設備 226号室平面詳細図(床上改修)	M-09
								縮尺	
								A1:1/30 A3:1/60	



凡例

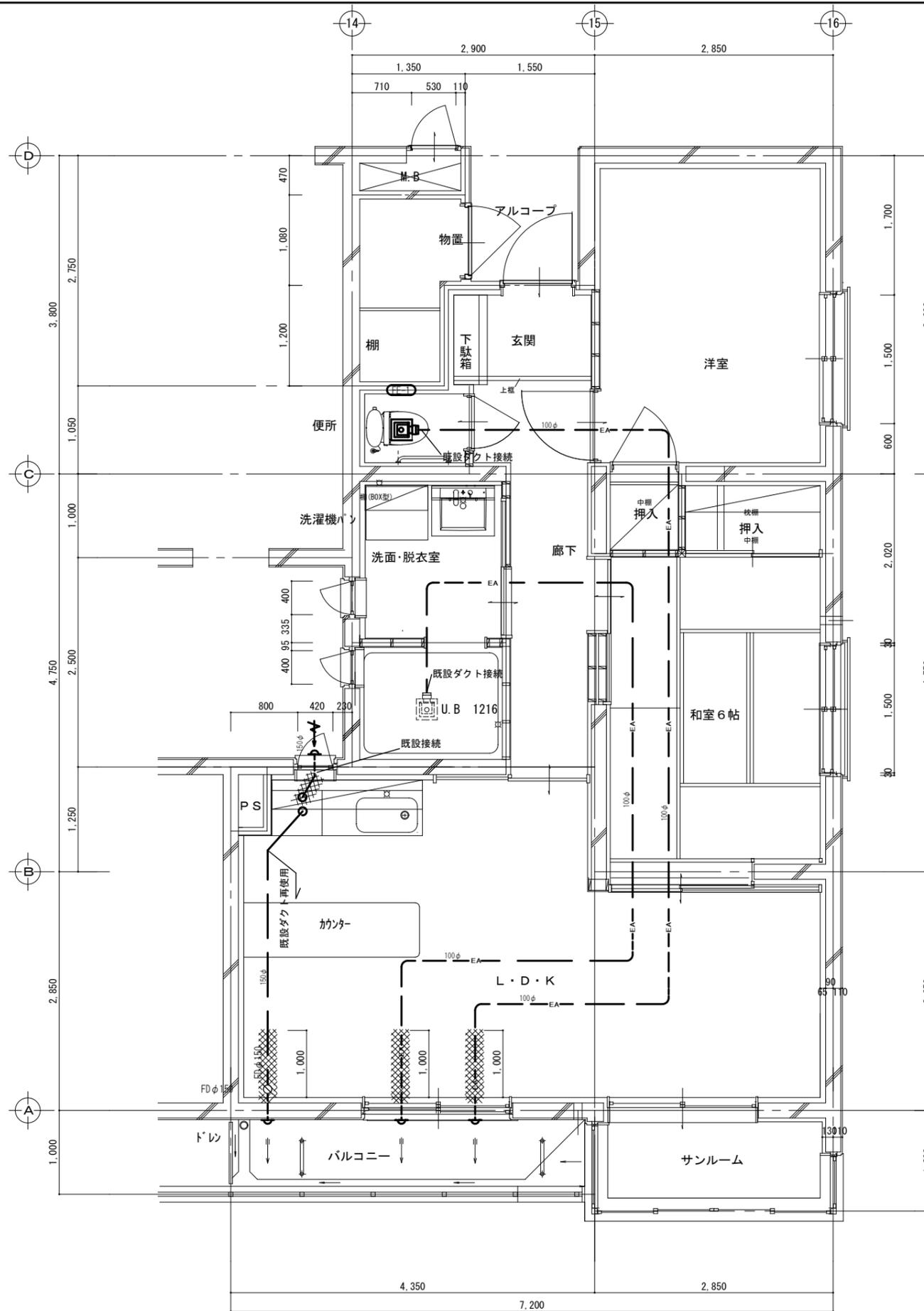
配管撤去・更新配管・保温工事(ガス管除く)を示す。

 保温工事部分を示す。

226号室平面詳細図 1/30

訂正	月日	盛岡広域振興局土木部住宅課	設計年月日	設計	検図	受領印	工事名称	設計番号
	.		R 4. 11	製図	担当	受領年月日	県営宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	—
							図面名称	図面番号
							衛生設備 226号室平面詳細図(天井改修)	M — 10

縮尺
A1:1/30
A3:1/60



凡例	
—EA—	新設ダクト
- -EA- -	既設ダクト再使用
XXXXXX	断熱GW25 (厨房RW25)

226号室平面詳細図 1/30

訂正	月日

盛岡広域振興局土木部住宅課

設計年月日 R 4. 11	設計	検図	受領印	工事名称 県宮宮野目アパート (2号棟216・226号室) 火災復旧工事	設計番号 —
製図	担当	受領年月日 .	図面名称 換気設備 226号室平面詳細図 (改修)	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図面番号 M — 12